

MERIT

4ch デジタルビデオレコーダ
HS-DH4095

取扱説明書



目次

1. 正しくお使いいただくために	P2
2. 主な特長	P3
3. 各部の名称	P4
3-1. 正面パネル	P4
3-2. 背面パネル	P4
3-3. 赤外線リモコン	P5
3-4. マウス	P6
4. 基本機能	P7
4-1. 電源のON	P7
4-2. ログイン	P8
4-3. 電源のOFF	P8
4-4. ライブ映像画面	P9
4-5. 再生画面	P9
5. 設定ガイド	P10
5-1. 基本設定	P10
5-2. ライブ設定	P12
5-3. 録画設定	P14
5-4. スケジュール設定	P16
5-5. アラーム設定	P18
5-6. ネットワーク設定	P21
5-7. ユーザ管理設定	P23
5-8. PTZ設定	P24
5-9. リセット	P26
6. 検索・再生・バックアップ	P27
6-1. 時間検索	P27
6-2. 再生操作	P27
6-3. イベント検索	P28
6-4. ファイル管理	P29
6-5. バックアップ	P30
6-6. 再生専用ソフト	P31
7. DVR管理	P34
7-1. DVR情報	P34
7-2. ディスク管理	P35
7-3. アップグレード	P36
7-4. ログオフ	P36
7-5. シャットダウン	P36
8. 遠隔監視	P37
8-1. DVRへのアクセス	P37
8-2. 遠隔ライブ映像	P38
8-3. 遠隔検索再生	P41
8-4. 遠隔バックアップ	P44
8-5. 遠隔設定	P46
8-6. ツール	P59
8-7. 情報	P60
9. 録画時間	P63
10. 仕様	P64

1. 正しくお使いいただくために

以下の警告・注意事項をお読みになり、安全にご使用ください



警告 人が死亡、または重症を負う恐れがある内容です。

- 電源は正しく使用する

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 湿気の多い場所では使用しない。

風呂場・炊事場など、湿気の多いところ、湯気、油煙、ほこりがあたるような場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴りはじめたときの対処

雷が鳴りはじめたら、電源ケーブルをすみやかにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- キャビネットは絶対にはずさないでください。

火災・感電の原因となります。内部点検、調整、修理は販売店にご依頼ください

- 機器に異常が生じたときの対処

万一煙がでてい、変なおいや音がする、本体を触ることができないほど発熱している場合などの異常状態になったときは、電源ケーブルをすみやかにコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

- 改造は絶対にしないでください。

本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- 機器に水が入る可能性のある環境では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。降雨中、海岸、川岸水辺での使用は危険ですのでおやめください。



警告 人が障害を負ったり、財産が損害を受けたりする恐れのある内容です。

- 直射日光や熱器具の近くは避けてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くには置かないでください。内部温度が上昇して故障の原因となります。

- お手入れのとき

お手入れのときは、安全のため、作業の前に必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

- 磁気を発生させる機器の近くには置かない。

磁気を発生させる機器の近くには置かないでください。磁気の影響を受けて、正しく動作しないことがあります。

2. 主な特長

- 画像圧縮
 - ・ 高画質で、圧縮率にすぐれたH.264を採用しています。
- ライブ映像監視
 - ・ HD VGAに対応しています。
 - ・ チャンネルごとに映像を非表示にすることができます。
 - ・ 操作にはUSBマウスが使用できます。
- 記録メディア
 - ・ 最大2TBまでのSATA HDDが搭載できます。
- 録画データのバックアップ
 - ・ USB 2.0をサポートするデバイスが使用できます。
 - ・ 外部DVD記録装置をサポートしています。
 - ・ インターネットを経由し、遠隔PCにデータを送信するためAVIファイルをサポートしています。
- 録画・再生
 - ・ 4種類の録画モード(マニュアル、スケジュール、モーション、外部アラーム)に対応しています。
 - ・ HDDが一杯になった時、古いデータから順に上書き保存できます。
 - ・ 2種類の検索方法(時間検索、イベント検索)に対応しています。
 - ・ 4チャンネルの音声記録が可能です。
 - ・ 録画データはファイル毎に削除、保存が可能です。
 - ・ LANまたインターネットを介し、遠隔からの再生操作が行えます。
- アラーム
 - ・ 入力4チャンネル、出力1チャンネルを標準装備しています。
 - ・ モーション検知と外部アラームのスケジュール設定が可能です。
 - ・ プレアラーム録画、ポストアラーム録画をサポートしています。
 - ・ アラームに対応したチャンネルの録画が可能です。
- PTZ操作
 - ・ 各種PTZのプロトコルに対応しています。
 - ・ インターネットを介し、遠隔地からのPTZ操作が可能です。
- セキュリティ
 - ・ ユーザ権限のカスタマイズが可能です。
 - ・ 1管理者、4ユーザの登録ができます。
- ネットワーク
 - ・ TCP/IP、DHCP、PPPoE、DDNSのプロトコルをサポートしています。
 - ・ 遠隔監視にはInternet Explorerが使用できます。
 - ・ 遠隔地からの時間検索・イベント検索、再生が可能です。
 - ・ 遠隔地からDVRの各種設定が行えます。
 - ・ 遠隔地からPTZのマニュアル操作、プリセット操作が可能です。
 - ・ Windows Mobile、Iphoneなどにより、モバイル監視ができます。
(予め、アプリケーションのインストールが必要な場合があります。)

3. 各部の名称

3-1. 正面パネル

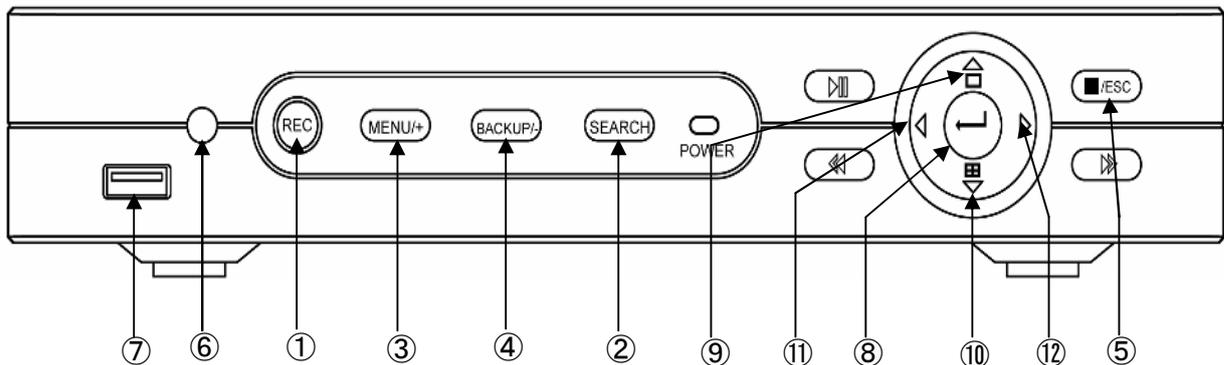


図 1. 正面パネル

No.	名称	働き
①	REC	マニュアル録画を行います
②	SEARCH	検索モードに入ります
③	MENU/+	設定の数値を増加させます メニューモードに入ります
④	BACKUP/-	設定の数値を減少させます バックアップモードに入ります
⑤	STOP/ESC	再生を終了します 現在のメニューから抜けます
⑥	IR 受信部	赤外線リモコンの信号を受けます

No.	名称	働き
⑦	USB スロット	USB メモリなどを接続します
⑧	ENTER ↵	選択・設定を確定します
⑨	▲ □	上方向を指示します フル画面を表示します
⑩	▼ □	下方向を指示します 分割画面を表示します
⑪	◀ REW	左方向を指示します 巻き戻し再生をします
⑫	▶ FF	右方向を指示します 早送り再生をします

3-2. 背面パネル

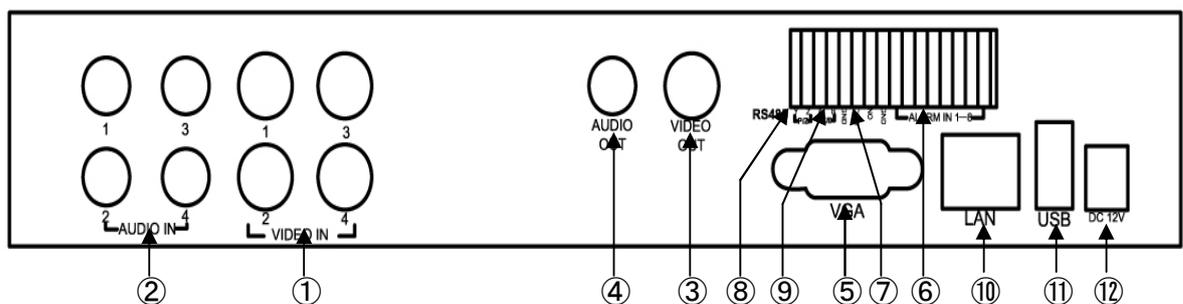


図 2. 背面パネル

No.	名称	働き
①	VIDEO IN	映像入力 (ch1~ch4)
②	AUDIO IN	音声入力 (ch1~ch4)
③	VIDEO OUT	映像出力
④	AUDIO OUT	音声出力
⑤	VGA	VGA 出力
⑥	ALARM IN	アラーム入力 (ch1~ch4)

No.	名称	働き
⑦	COM/GND	コモン/グランド
⑧	P/Z	PTZ への制御出力信号
⑨	K/B	キーボードからの入力信号
⑩	LAN	ネットワークポート
⑪	USB マウス	USB マウス接続
⑫	DC 12V	電源 (DC12V) 入力

3-3. 赤外線リモコン(オプション)

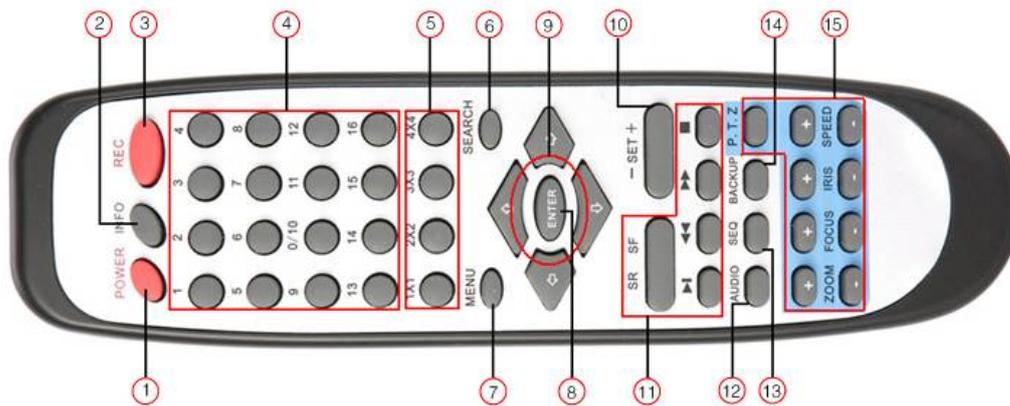


図 3. 赤外線リモコン

No.	名称	働き
①	電源(POWER)	システムシャットダウンを行います。本体の電源を切る前に実行して下さい。
②	情報(INFO)	ファームウェアのバージョン、HDD の情報を表示します。
③	録画(REC)	マニュアル録画を開始します。
④	数字キー(1~16)	数字の入力とカメラの選択に使用します。
⑤	分割画面(1x1~4x4)	分割画面の選択を行います。(本機では 1x1 と 2x2 のみ使用します。)
⑥	検索(SEARCH)	検索モードに入ります。
⑦	メニュー(MENU)	メニューを表示します。
⑧	実行(ENTER)	選択・設定の確定に使用します。
⑨	方向(↑ ↓ ← →)	設定時のカーソルの移動、PTZ のパンチルト操作に使用します。
⑩	+-(+ SET -)	設定時に値の増減に使用します。
⑪	再生操作 (SR SF ▶ ◀▶▶ ■)	録画映像の再生時に使用します。(早送り、巻き戻し、停止、コマ送り)
⑫	音声(AUDIO)	ライブモード時に音声機能を有効にします。
⑬	シーケンス(SEQ)	本機では使用しません。
⑭	バックアップ(BACKUP)	バックアップモードに入ります。
⑮	カメラ制御(PTZ) (ZOOM FOCUS IRIS SPEED)	PTZ カメラの制御をします。 (ズーム、フォーカス、アイリス、スピード)

3-4. マウス

本機はマウスを使用しなくても前面パネルのみで操作が可能ですが、マウスを使用することにより、操作が一層簡単になることから、この取扱説明書では、付属のマウスを使用することを前提に書かれています。

3-4-1. マウスの接続

背面パネルのUSBマウスポートにUSBマウスを接続してください。(図 2. 背面パネル 参照)

マウスが認識されない場合は、次の点を確認してください。

1. 背面パネルのUSBマウスポートに接続していますか。(正面パネルのUSBポートではありません。)
2. マウスを交換し、もう一度試してください。

3-4-2. マウスの使用方法

(1) ライブ映像時

分割画面の中の、1つのカメラ映像の上で左ダブルクリックをすると、そのカメラ映像はフル画面で表示されます。もう一度ダブルクリックすると、元の分割画面に戻ります。

画面上で右クリックすると、画面に図13.のコントロールメニューが表示されます。すべての操作・設定はこのコントロールメニューから行います。もう一度右クリックすると、コントロールメニューが隠れます。

(2) 設定時

メニュー設定時に左クリックすると、設定内容・選択内容が確定されます。右クリックすると設定内容はキャンセルされ、前の画面に戻ります。

数値・文字を入力する場合は、入力する場所で左クリックしてください。図 4.の文字入力画面が表示されます。

Shift(シフト)キーをクリックすると大文字、シンボルなどの記号が使用できます。

入力が終了したらEnterキーをクリックしてください。入力した内容が確定されます。

マウスホイールは値を変更する場合に使用できます。変更する値の箇所にカーソルを移動し、値が点滅している時にマウスホイールを回転させるとその値が変化します。

またマウスドラッグにも対応しています。例えばモーション検知範囲の設定時には、設定範囲の左上隅で左クリックし、そのまま右下隅までドラッグしてください。



図 4. 文字入力画面

4. 基本機能

4-1. 電源のON

電源を投入する前に、すべての接続が間違っていないか、もう一度確認してください。

- (1) ACアダプタからの電源を背面パネルの電源入力部に挿してください。
- (2) 本機に電源が供給され、前面パネルの電源表示(POWER部)が青く点灯します。
- (3) 本機にはじめて電源を投入した時は、システムが動作開始する前に、図 5.のWIZARD(ウィザード)ダイアログボックスがポップアップされ、タイムゾーン、日付時刻の設定画面が表示されます。

(本機は、この項目を設定の上、出荷されますので、通常、この画面は表示されません。)

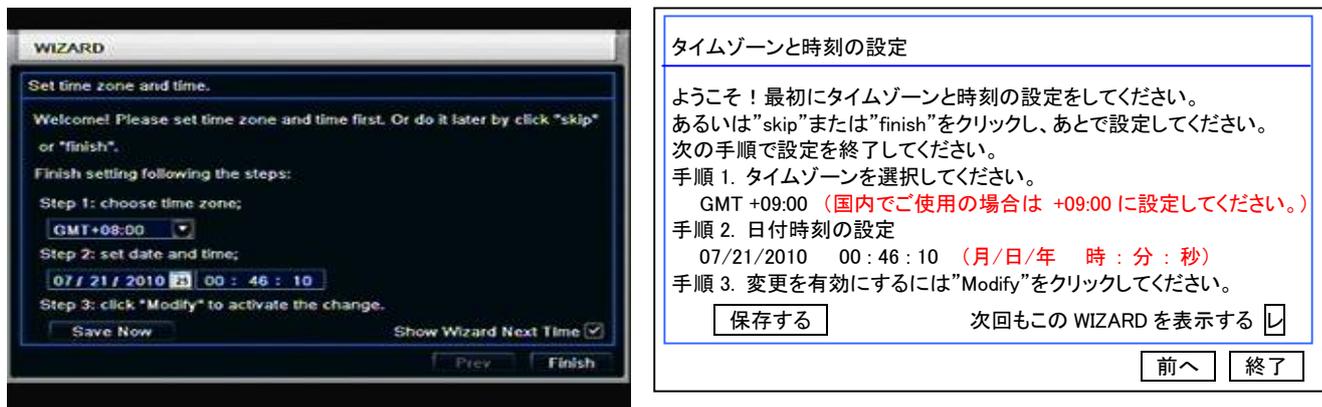


図 5. WIZARD(初回電源投入時)

<重要>電源投入後、メニューが表示されない、またはライブ映像しか表示されない場合は、前面パネルのESC鈕を長押ししてください。

本機にはVGAとコンポジットの2出力が装備されています。どちらか一方をメインモニタ用、もう片方をサブモニタ用として使用できます。但し、メインモニタには映像のほかメニュー画面、カメラ名、日付時刻、各種アイコンが表示されますが、サブモニタには映像のみが表示されます。VGAとコンポジットのどちらをメインモニタとして使用するかは、後述する5-1-1. システム設定の(7)Video Output(映像出力)で設定できますが、前面パネルのESC鈕を長押しすることにより、VGAとコンポジットを切り替えることができます。

- (4) 2度目以降の電源投入時には図 6.~図 9.のWIZARD(ウィザード)ダイアログボックスが表示されます。

これらのWIZARD(ウィザード)では、本機を使用する上で基本的な項目を設定しますが、ここで設定を行わず、後でメインメニューから設定することもできます。その場合はExit鈕をクリックしてください。ログイン画面が表示されます。



図 6. WIZARD1(日付時刻設定)
設定方法は 5-1.基本設定の各項目を参照ください

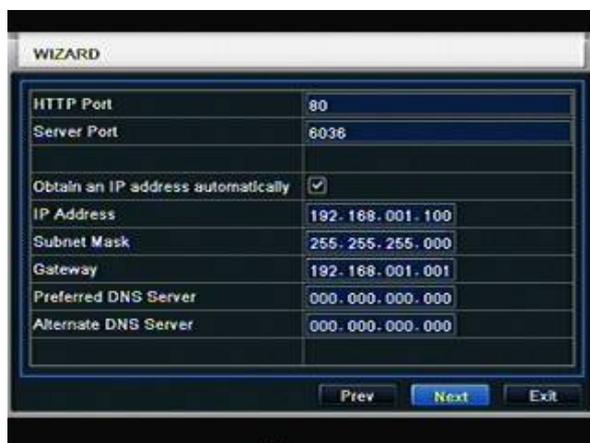


図 7. WIZARD2(ネットワーク設定)
設定方法は 5-6.ネットワーク設定の各項目を参照ください



図 8. WIZARD3(録画設定)

設定方法は 5-3.録画設定の各項目を参照ください



図 9. WIZARD4(HDD 管理)

詳細は 9.HDD 管理を参照ください

WIZARD(ウィザード)はNext(次へ)鈕をクリックすることにより次のWIZARD(ウィザード)に移り、Prev(前へ)鈕をクリックすることにより前のWIZARD(ウィザード)に戻ります。

すべての設定が終了したら図 9.のFinish(終了)鈕をクリックしてください。ログイン画面が表示されます。

このWIZARD(ウィザード)は設定により、次回の電源投入時からは表示しないようにすることができます。詳細は 5-1-1. システム設定の(5)Startup Wizard(スタートアップ・ウィザード)を参照ください。

4-2. ログイン

本機にはじめてログインする場合、またはユーザ名、パスワードの追加・変更を行わず、現状のまま使用される場合は、初期値を入力してください。

ユーザ名(User Name)とパスワード>Password)の初期値は次の通りです。

User Name : admin

Password : 123456

ユーザ名とパスワードを入力したらLogin(ログイン)鈕をクリックしてください。ライブ映像が画面に表示されます。

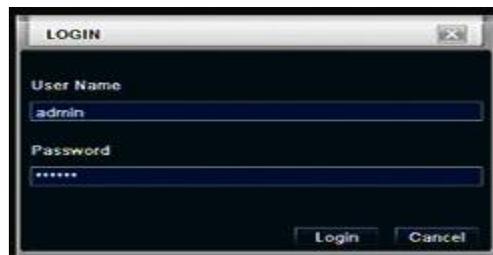


図 10. ログイン画面

間違ったユーザ名、パスワードを入力すると、"User Name or Password is incorrect. Please try again." (ユーザ名またはパスワードが間違っています。もう一度行ってください。)と警告が表示されます。正しいユーザ名とパスワードをもう一度入力し、Login(ログイン)鈕をクリックしてください。

4-3. 電源のOFF

手順 1. 画面上でマウスを右クリックし、図13.のコントロールメニューを表示してください。

手順 2. コントロールメニューの中のメニューアイコン  をクリックし、表示されたメインメニューの中のシャットダウンアイコン  をクリックしてください。

手順 3. シャットダウン(SHUT DOWN)画面が表示されますのでOKをクリックしてください。しばらくすると電源がOFFされ画面の表示がすべて消えますのでACアダプタからの電源を抜いてください。

4-4. ライブ映像画面



図 11. ライブ映像画面

各画面左上のシンボルの色は録画モードを表しています。

色	録画モード
緑	マニュアル録画
黄	モーション検知録画
赤	アラーム録画
青	スケジュール録画

4-5. 再生画面

コントロールメニューの **▶ Playback** (再生) をクリックすると、最新のファイルが再生されます。再生時の操作は画面下部にあるツールバーの操作鈕をクリックして行うことができます。検索による再生方法は **6. 検索と再生** を参照ください。



図 12. 再生画面

1	再生操作	再生/一時停止/停止/コマ送り/早送り/巻き戻しの操作をします。
2	画面モード	フル画面/4分割画面の切替をします。
3	画面拡大	電子ズームで画面を2倍に拡大します。
4	音量	音量調整、ミュートのON/OFFをします。
5	ツールバー	操作ツールバーを隠します。
6	閉じる	再生を終了し、ライブ映像画面に戻ります。
7	過程表示	再生の過程と再生画面の時刻を表示します。

5. 設定ガイド

画面上でマウスを右クリックするか、前面パネルのESC釦を押すと画面にコントロールメニューが表示されます。



図 13. コントロールメニュー

1	フル画面	フル画面のチャンネルを選択します。
2	分割画面	分割画面を選択します。
3	電子ズーム	電子ズームで画面を2倍に拡大します。
4	音声	音声チャンネルの設定と音量調整をします。
5	PTZ	PTZ制御モードになります。
6	録画	マニュアル録画を開始します。
7	再生	最新のファイルを再生します。
8	メインメニュー	画面にメインメニューを表示します。

コントロールメニューのメインメニュー  を選択すると図14.のメインメニューが表示されます。

さらにメインメニューの中のSetup(設定)  を選択すると図15.のSETUP(設定)画面が表示されます。



図 14. メインメニュー



図 15. 設定画面

5-1. 基本設定

基本設定にはサブメニューとしてシステム設定、日付時間設定、DST(夏時間)設定が含まれます。

5-1-1. システム設定

メインメニューの中のSetup(設定)  を選択し、表示されたSETUP(設定)画面の中のBasic(基本設定)  を選択すると図16.の基本設定画面のシステム設定メニューが表示されます。

システム設定では次の項目を設定します。

(1) Device Name(機器の名称)、Device ID(機器のID)

本機をLANまたはインターネットを介してアクセスした時、設定した名称・IDがクライアントPCに表示されます。

(2) Video Format(映像方式)

使用する映像の方式をNTSC、PALのいずれかから選択します。日本国内では通常NTSCを選択してください。

(3) Password Check(パスワードチェック)

チェック(✓)を入れるとこの機能が有効になり、ユーザはユーザ名とパスワードの入力が要求され、予め設定したユーザレベルに応じた操作権限が与えられます。



図 16. 基本設定画面(システム設定)

(4) Show System Time(時刻表示)

チェック(✓)を入れるとこの機能が有効になり、ライブ映像に時刻が表示されます。

(5) Startup Wizard(スタートアップ・ウィザード)

チェック(✓)を入れるとこの機能が有効になり、本機が起動する度に図 6.~図 9.のウィザード・ダイアログボックスがポップアップされます。

(6) Max Online Users(最大同時アクセス数)

ネットワークを介し、同時にアクセスできるユーザの数を1~5名の中から選択します。

(7) Video Output(映像出力)

メインモニタとして使用する映像出力を次の中から選択します。(P7の<重要>の項を参照ください。)

VGA 800 x 600(SVGA)、VGA 1024 x 768(XGA)、VGA 1280 x 1024(SXGA)、CVBS(コンポジットビデオ)

(8) Language(言語)

使用する言語をプルダウンメニューの中から選択します。

(注) Language(言語)またはVideo Output(映像出力)を変更した場合は、もう一度ログインする必要があります。

5-1-2. 日付時刻設定

基本設定画面でDate & Time(日付時刻)タブを選択すると、図17.の日付時刻設定メニューが表示されます。

日付時刻設定では次の項目を設定します。

(1) Date Format(日付表示形式)

プルダウンメニューの中からYY-MM-DD(年月日の順)を選択してください。

(2) Time Format(時刻表示形式)

24Hour(24時間制)、12Hour(12時間制)のいずれかを選択してください。

(3) Time Zone(タイムゾーン)

日本の標準時はGMT +09:00です。

プルダウンメニューの中からGMT +09:00を選択してください。

(4) System Date(システム日付)

本機に設定する日付です。今日の日付をカレンダーの中から選択してください。

(5) System Time(システム時刻)

本機に設定する時刻です。今現在の時刻を入力してください。



図 17. 基本設定画面(日付時刻設定)

5-1-3. DST(夏時間)設定

基本設定画面でDST(夏時間)タブを選択すると、図18.の夏時間設定メニューが表示されます。

日本では夏時間制度が採用されていないので、設定の必要はありませんが、最初の項目Daylight Saving Timeにチェックが入っていない(無効になっている)ことを確認してください。

基本設定が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定内容が保存されます。

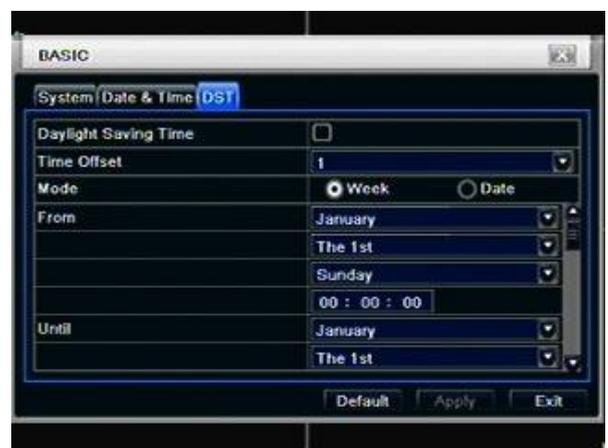


図 18. 基本設定画面(夏時間設定)

5-2. ライブ設定

ライブ設定にはサブメニューとしてライブ映像設定、スポットモニタ設定、マスク設定が含まれます。

但し、本機はスポットモニタ出力を装備していません。

5-2-1. ライブ映像設定

メインメニューの中のSetup(設定)  を選択し、表示されたSETUP(設定)画面の中のLive(ライブ設定)  を選択すると図19.のライブ設定画面のライブ映像設定メニューが表示されます。

ライブ映像設定ではカメラ毎に次の項目を設定します。

(1) Camera Name(カメラ名)

カメラ名(文字)の入力方法はP6 3-4-2.マウスの使用方法を参照ください。入力文字は半角英数で32文字までです。

(2) Show Name(カメラ名の表示)

チェック(✓)を入れるとこの機能が有効になり、ライブ映像にカメラ名が表示されます。

(3) Color(映像調整)

Setting(設定)鈕を選択すると図20.の映像調整メニューが表示されます。

(a) Channel(チャンネル)

プルダウンメニューから映像調整するカメラ番号を選択します。

(b) Brightness(明るさ)

映像の明るさを調整します。カーソルをドラッグするか   鈕をクリックして値を調整します。

(c) Hue(色相)

映像の色相を調整します。カーソルをドラッグするか   鈕をクリックして値を調整します。

(d) Saturation(彩度)

映像の彩度を調整します。カーソルをドラッグするか   鈕をクリックして値を調整します。

(e) Contrast(コントラスト)

映像のコントラストを調整します。カーソルをドラッグするか   鈕をクリックして値を調整します。

(f) Default(初期値)

Default(初期化)鈕をクリックすると上記(b)～(e)で設定した値が工場出荷時の初期値に戻ります。

映像調整が終了したらOK鈕をクリックしてください。図20.の映像設定メニューが消え、図19.のライブ映像設定メニューに戻ります。

5-2-2. スポットモニタ設定(本機は対応していません)

ライブ設定画面でSpot(スポット)タブを選択すると、スポットモニタ設定メニューが表示されます。

本機にはスポットモニタ出力が装備されていません。従い、この項目を設定する必要はありません。

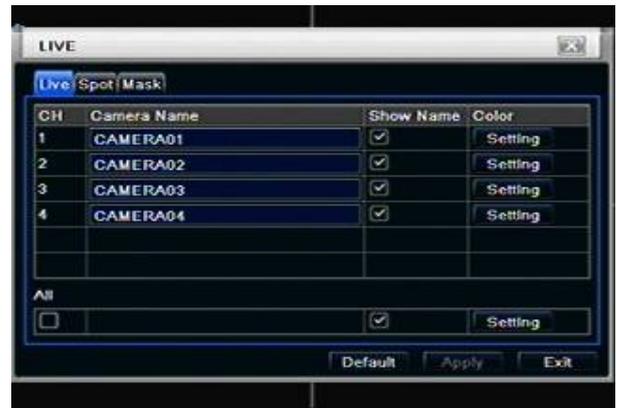


図 19. ライブ設定画面(ライブ映像設定)

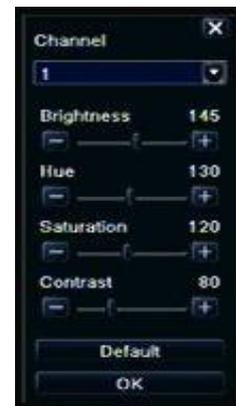


図 20. 映像調整

5-2-3. マスキング設定

マスキングにより、ライブ映像の一部分を目隠して表示します。マスキングは、カメラ1台あたり3箇所まで設定できます。

(注)マスキングされた部分はライブ映像で目隠しされるだけでなく、録画もされませんので、充分注意してマスキング設定をしてください。

ライブ設定画面でMask(マスク)タブを選択すると、図21.のマスキング設定メニューが表示されます。



図 21. ライブ設定画面(マスキング設定)



図 22. マスキング範囲の設定

(1)マスキング範囲の設定

図21.のマスキング設定メニューの中のSetting(設定)鈕をクリックすると、選択したカメラの映像が表示されます。

マスキングする範囲の左上でマウスを左クリックし範囲の右下までドラッグしてください。マスキング範囲を1~3箇所設定したらマウスを右クリックし、表示された図21.のマスキング設定画面でApply(適用)鈕をクリックしてください。これで今設定したマスキング範囲が確定されます。設定されたマスキングは実際のライブ映像では図23.のように表示されます。



図 23. マスキングされたライブ映像

(2)マスキング箇所の削除

図22.のマスキング範囲設定画面を表示させてください。

削除するマスキング箇所の上でマウスをダブルクリックしてください。マスキング箇所が灰色から黒色に変わります。続いてマウスを右クリックし、表示された図21.のマスキング設定画面でApply(適用)鈕をクリックしてください。選択したマスキング箇所が削除され、その設定が保存されます。

ライブ設定が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定内容が保存されます。

引き続きExitをクリックしてください。図15.の設定画面に戻ります。

5-3. 録画設定

録画設定にはサブメニューとして録画有効設定、録画画像設定、録画時間設定、スタンプ、上書設定が含まれます。

5-3-1. ライブ映像設定

メインメニューの中のSetup(設定)  を選択し、表示されたSETUP(設定)画面の中のRecord(録画設定)  を選択すると図24.の録画設定画面のEnable(録画有効設定)メニューが表示されます。

Record(録画)欄にチェック(✓)を入れたカメラの映像が録画されます。Audio(音声)欄にチェック(✓)を入れると、音声も同時に記録されます。

All(すべて)にチェック(✓)を入れると、Allに設定された内容がすべてのカメラに適用されます。

Default(初期化)鈕をクリックすると設定した値が工場出荷時の初期値に戻ります。

設定が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定内容が保存されます。



図 24. 録画設定画面(録画有効設定)

5-3-2. 録画画像設定

録画設定画面でRecord Bitrate(録画画像)タブを選択すると、図25.の録画画像設定メニューが表示されます。

録画画像設定では解像度、画質、フレームレートを設定します。フレームレートはカメラ毎に設定できますが、解像度と画質はすべてのカメラが同一の設定になります。まずAll(すべて)にチェック(✓)を入れ、All(すべて)の欄で解像度と画質をプルダウンメニューの中からそれぞれ選択してください。解像度でD1を選択した時にフレームレートが高すぎると”Exceeding system capacity, framerate adjusted automatically”(システムの容量を超えています。フレームレートは自動的に調整されます。)という警告が表示されますのでOK鈕をクリックしてください。

次にApply(適用)鈕をクリックしてください。All(すべて)に設定された内容がすべてのカメラに反映されます。

(1) Resolution(解像度)

プルダウンメニューのD1(720 x 480)、CIF(360 x 240)の内いずれかを選択してください。

(2) Quality(画質)

録画する画質をプルダウンメニューの中から選択してください。

Highest	Higher	Medium	Low	Lower	Lowest
(高) ← (画質) → (低)					

(3) fps(フレームレート)

プルダウンメニューの中から、録画コマ数を選択してください。

- ・解像度がCIFの時 :すべてのカメラそれぞれに、1~30フレームの間で選択できます。
- ・解像度がD1の時 :すべてのカメラそれぞれに、1~27フレームの間で選択できます。但し、すべてのカメラの合計フレームレートが30を超えることはできません。

Default(初期化)鈕をクリックすると設定した値が工場出荷時の初期値に戻ります。

設定が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定内容が保存されます。



図 25. 録画設定画面(録画画像設定)

5-3-3. 録画時間設定

録画設定画面でTime(録画時間)タブを選択すると、図26.の録画時間設定メニューが表示されます。録画時間設定ではモーション検知時または外部アラーム発生時の録画時間、及びそのデータの保存期間を設定します。

(1)Pre-alarm Record Time(プリアラーム録画時間)

アラーム発生前の録画時間です。5秒に固定されており、変更することはできません。

(2)Post-alarm Record Time(ポストアラーム録画時間)

アラーム状態終了後の録画時間をプルダウンメニューの中から選択します。

選択肢: 10秒、15秒、20秒、30秒、60秒、2 x 60秒(2分)、3 x 60秒(3分)、5 x 60秒(5分)

(3)Expire[Days](保存期間)

5-3-5.上書き設定で上書きを有効にすると、HDDが一杯になった時、古いデータから順に上書きされていきます。しかし、このExpire[Days](保存期間)を設定すると、設定された日数は上書きされずに残ります。Neverを選択するとアラーム録画のデータであっても他のデータと同様にHDDが一杯になった時、古いデータから順に上書きされていきます。

選択肢: 10秒、15秒、20秒、30秒、60秒、2 x 60秒(2分)、3 x 60秒(3分)、5 x 60秒(5分)

All(すべて)にチェック(✓)を入れると、Allに設定された内容がすべてのカメラに適用されます。

Default(初期化)鈕をクリックすると設定した値が工場出荷時の初期値に戻ります。

設定が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定内容が保存されます。



図 26. 録画設定画面(録画時間設定)

5-3-4. スタンプ設定

録画設定画面でStamp(スタンプ)タブを選択すると、図27.のスタンプ設定メニューが表示されます。

スタンプ設定では、録画画像に重ね合わせる文字情報の選択と表示位置を設定します。

(1)Camera Name(カメラ名)

チェック(✓)を入れると録画画像にカメラ名が入ります。

(2)Time Stamp(時刻表示)

チェック(✓)を入れると録画画像に日付時間が入ります。

(3)Position(表示位置)

Setting(設定)鈕をクリックすると、選択したカメラの映像にカメラ名、日付時刻が入って表示されます。

カメラ名、日付時刻はマウスでドラッグすることにより、任意の位置に移動できます。

All(すべて)にチェック(✓)を入れると、Allに設定された内容がすべてのカメラに適用されます。

Default(初期化)鈕をクリックすると設定した値が工場出荷時の初期値に戻ります。

設定が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定内容が保存されます。



図 27. 録画設定画面(スタンプ設定)

5-3-5. 上書き設定

録画設定画面でRecycle Record(上書き)タブを選択すると、図28の上書き設定メニューが表示されます。

チェック(✓)を入れこの機能を有効にすると、HDDの容量が一杯になった時、古いデータ部分から新しいデータが上書き保存されます。

チェック(✓)をはずしこの機能を無効にすると、HDDの容量が一杯になった時、録画は停止します。



図 28. 録画設定画面(上書き設定)

設定が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定内容が保存されます。

録画設定が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定内容が保存されます。

引き続きExitをクリックしてください。図15の設定画面に戻ります。

5-4. スケジュール設定

ここでは録画のスケジュールを設定します。スケジュール設定にはサブメニューとして録画スケジュール設定、モーション録画スケジュール設定、センサー録画スケジュール設定が含まれます。

5-4-1. 録画スケジュール設定

メインメニューの中のSetup(設定)  を選択し、表示されたSETUP(設定)画面の中のSchedule(スケジュール)  を選択すると、図29のスケジュール設定画面の録画スケジュール設定メニューが表示されます。

このメニューからカメラ毎、曜日毎に録画の開始・終了時刻を設定します。

Channel(チャンネル)のプルダウンメニューから、設定するカメラ番号を選択し、スケジュールを設定する曜日の右のスケジュール表の上でダブルクリックしてください。図30の曜日スケジュール設定画面が表示されます。

Week Days(曜日)のプルダウンメニューから、設定する曜日を選択してください。画面左下のAdd(追加)鈕をクリックすると図31の開始・終了設定画面が表示されます。録画を開始する時刻をStart Time(開始時刻)欄のHour(時)、Minute(分)それぞれのプルダウンメニューから選択してください。同様に録画を終了する時刻をEnd Time(終了時刻)の欄に設定してください。設定が終了したら 鈕をクリックしてください。図31の開始・終了設定画面が閉じ、今設定した内容が図29.と図30.の設定画面に自動的に反映されます。

鈕をクリックすると開始・終了の設定内容はキャンセルされ図30.の曜日スケジュール設定画面に戻ります。

例えば、最初の時間帯が開始06:00 - 終了08:59で、2番目の時間帯が開始15:00 - 終了20:59のように、開始・終了時刻が

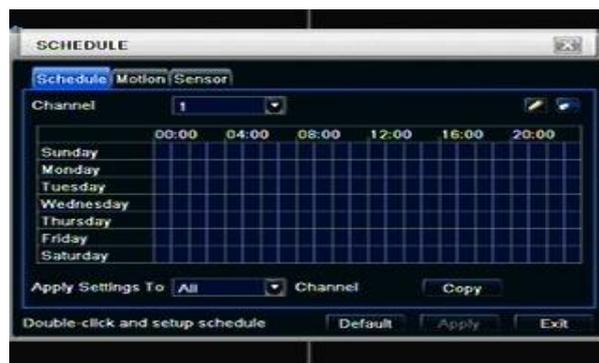


図 29. 録画スケジュール設定



図 30. 曜日スケジュール設定



図 31. 開始・終了設定

2つ以上に分かれる場合は、最初の時間帯の開始・終了時刻を設定後、再度Add(追加)鈕をクリックし2番目の時間帯の開始・終了時刻を設定してください。3番目以降も同様です。

図31.の開始・終了設定画面を使用せず、図29.のスケジュール設定画面のスケジュール表で直接スケジュールを作成することもできます。但し、この場合は1時間単位の設定になり、分単位での設定はできません。図29.の  アイコンをクリックし、スケジュール表の中でクリックしてください。今クリックした箇所録画スケジュールが設定されます。 アイコンが押された状態のときは、続けてこの作業をくりかえすことができます。すでに設定されている箇所を削除する場合は、 アイコンをクリックし、スケジュール表の削除したい箇所をクリックしてください。設定が削除されます。 アイコンが押された状態のときは、続けてこの作業をくりかえすことができます。

設定した開始・終了時刻と同じ内容を別の曜日にコピーすることができます。図30.の曜日スケジュール設定画面で、コピー元となる曜日のスケジュールを表示してください。コピー先の曜日をApply Setting To(～に設定を適用)のプルダウンメニューから選択し、Copy(コピー)鈕をクリックしてください。

設定した開始・終了時刻を削除する場合は、リストの中の削除する開始・終了時刻を選択し、Delete(削除)鈕をクリックしてください。

すべての曜日の設定が終了したらOK鈕をクリックし、設定内容を保存した後、Exit鈕をクリックし図29.の録画スケジュール設定画面に戻ってください。設定された開始・終了時刻がスケジュール表に青いバーで表示されています。

図29.の録画スケジュール設定画面のChannel(チャンネル)プルダウンメニューから別のカメラを選択し、同様に設定してください。1つのカメラに設定した内容を別なカメラにコピーする場合は、コピー先のカメラを画面下部のApply Setting To Channel(設定を～チャンネルに適用)のプルダウンメニューから選択し、Copy(コピー)鈕をクリックしてください。すべてのカメラの録画スケジュール設定が終了したらApply(適用)鈕をクリックし、設定内容を保存してください。

5-4-2. モーション録画スケジュール設定

スケジュール設定画面でMotion(モーション)タブを選択すると、図32.のモーション録画スケジュール設定メニューが表示されます。この設定メニューにより、モーション検知したときに自動録画するスケジュールをチャンネル毎、曜日毎に設定します。設定方法は、録画スケジュールの設定と同じです。詳細は 5-4-1.録画スケジュール設定を参照ください。



図 32. モーション録画スケジュール設定

5-4-3. センサー録画スケジュール設定

スケジュール設定画面でSensor(センサー)タブを選択すると、図33.のセンサー録画スケジュール設定メニューが表示されます。この設定メニューにより、アラーム入力があったときに自動録画するスケジュールをカメラ毎、曜日毎に設定します。設定方法は、録画スケジュールの設定と同じです。詳細は 5-4-1.録画スケジュール設定を参照ください。



図 33. センサー録画スケジュール設定

スケジュール設定が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定内容が保存されます。

引き続きExitをクリックしてください。図15.の設定画面に戻ります。

5-5. アラーム設定

アラーム設定にはサブメニューとしてセンサー設定、モーション設定、ビデオロス設定、その他のアラーム設定、アラーム出力設定が含まれます。

5-5-1. センサー設定

センサー設定にはサブメニューとして、基本設定、アラーム対応設定、スケジュール設定が含まれます。

メインメニューの中のSetup(設定)  を選択し、表示されたSETUP(設定)画面の中のAlarm(アラーム)  を、さらにその中のSensor(センサー)を選択すると、図34.のセンサー設定画面のBasic(基本設定)メニューが表示されます。

(1)Basic(基本設定)

基本設定ではセンサー入力のチャンネル毎に、有効/無効、センサーのタイプ、センサーの名前を設定します。

①Enable(有効)

チェック(✓)を入れると、そのチャンネルのセンサー入力が有効になります。

②Type(タイプ)

プルダウンメニューから、NO(ノーマルオープン)/NC(ノーマルクローズ)のいずれかを選択します。

③Name(名前)

各センサーには名前を付けることができます。文字の入力方法はP6 3-4-2.マウスの使用方法を参照ください。

(2)Alarm Handling(アラーム対応設定)

センサー設定画面でAlarm Handling(アラーム対応)タブを選択すると、図35.のアラーム対応設定メニューが表示されます。アラーム対応設定ではアラームの保持時間、アラーム受信時の動作について設定します。

①Holding Time[s](保持時間[秒])

アラームの保持時間をプルダウンメニューの中から選択します。

②Trigger(トリガー)

Trigger(トリガー)欄のSetting(設定)をクリックすると図36.の対応詳細設定メニューが表示されます。

・Alarm(アラーム)タブでは、Buzzer(ブザー)機能の有効/無効、フル画面表示させるカメラの選択、Eメールで通知するか否かの選択、アラーム出力を動作させるか否かの選択をします。

・To Record(録画機能へ)タブでは、アラーム発生時に録画するチャンネルを設定します。

・To P.T.Z.(PTZへ)タブでは、アラームに対応したPTZのプリセット、ツアーを設定します。アラームに対応したチャンネルは、複数選択できます。

対応詳細設定が終了したらOK鈕をクリックし設定内容を保存した後、Exit鈕をクリックしてください。図35.のアラーム対応設定画面に戻ります。



図 34. センサー設定画面
(基本設定)



図 35. センサー設定画面
(アラーム対応設定)

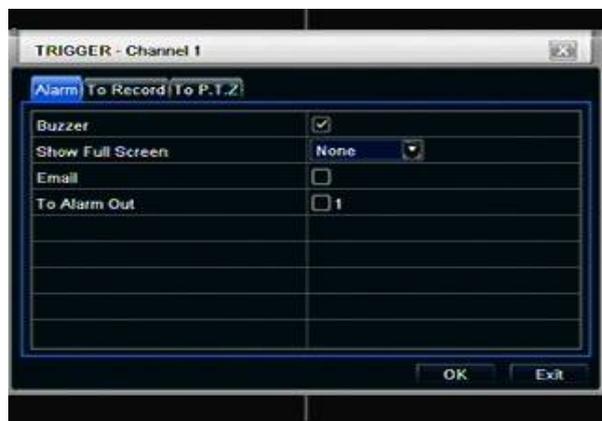


図 36. 対応詳細設定画面

(3) Schedule (スケジュール設定)

センサー入力を有効にするスケジュールです。設定方法は録画スケジュールの設定と同じです。
詳細は 5-4-1.録画スケジュール設定を参照ください。

センサー設定が終了したらApply (適用) 鈕をクリックしてください。設定内容が保存されます。
次にExit鈕をクリックしてください。前の画面に戻ります。

5-5-2. モーション設定

モーション設定にはサブメニューとしてモーション設定、スケジュール設定が含まれます。

メインメニューの中のSetup (設定)  を選択し、表示されたSETUP (設定) 画面の中のAlarm (アラーム)  を、さらにその中のMotion (モーション) を選択すると、図37.のモーション設定画面のMotion (モーション) メニューが表示されます。

(1) Motion (モーション設定)

モーション設定ではチャンネル毎にモーション検知機能の有効/無効、アラームの保持時間、モーション検知時の動作、モーション検知範囲の設定をします。

① Enable (有効)

チェック(✓)を入れると、そのチャンネルのモーション検知機能が有効になります。

② Holding Time [s] (保持時間 [秒])

アラームの保持時間をプルダウンメニューの中から選択します。

③ Trigger (トリガー)

Trigger (トリガー) 欄のSetting (設定) をクリックすると対応詳細設定メニューが表示されます。設定方法はセンサー設定と同様です。詳細はP18(2) Alarm Handling (アラーム対応設定) の② Trigger (トリガー) を参照ください。

④ Area (範囲)

Area (範囲) 欄のSetting (設定) をクリックすると図38.のモーション検知範囲設定画面が表示されます。

設定する検知範囲の左上でマウスを左クリックし検知範囲の右下までドラッグしてください。  アイコンをクリックすると、画面全体が検知範囲になります。  アイコンをクリックすると、設定した検知範囲がクリアされます。 Sensitivity (感度) バーをドラッグして感度を1~8の間で設定します。数字が大きい程、高感度になります。  アイコンをクリックすると、設定した範囲、感度が適切かどうかテストできます。

設定が終了したら  アイコンをクリックし、設定内容を保存してください。  アイコンをクリックすると図37.のモーション設定画面に戻ります。

(2) Schedule (スケジュール設定)

モーション機能を有効にするスケジュールです。設定方法は録画スケジュールの設定と同じです。
詳細は 5-4-1.録画スケジュール設定を参照ください。



図 37. モーション設定画面



図 38. モーション検知範囲設定画面

5-5-3. ビデオロス設定

メインメニューの中のSetup(設定)  を選択し、表示されたのSETUP(設定)画面の中のAlarm(アラーム)  を、さらにその中のVideo Loss(ビデオロス)を選択すると、図39.のビデオロス設定画面が表示されます。

ビデオロス設定では、映像入力が途切れた時の対応をカメラ毎に設定します。

Trigger(トリガー)をクリックすると対応詳細設定メニューが表示されます。設定方法はセンサー設定と同様です。詳細はP18(2)Alarm Handling(アラーム対応設定)の②Trigger(トリガー)を参照ください。



図 39. ビデオロス設定画面

5-5-4. その他のアラーム設定

メインメニューの中のSetup(設定)  を選択し、表示されたSETUP(設定)画面の中のAlarm(アラーム)  を、さらにその中のOther alarm(その他のアラーム)を選択すると、図40.のその他のアラーム設定画面が表示されます。

Alarm Type(アラームの種類)のプルダウンメニューにあるDisk Full、IP Conflict、Disconnectの中から設定するアラームを選択してください。

(1) Disk Full

HDDの残り容量がDisk Shortage Alarm欄で選択した容量を下回った時、それを通知する方法(ブザー、Eメール、アラーム出力)を選択するとともに、ライブ映像の右下に文字情報として出力するように設定できます。

(2) IP Conflict

本機と同一のネットワーク内に本機に設定したIPアドレスと同じアドレスを持つ機器が接続されるなど、IPアドレスの設定に異常がある場合、それを通知する方法(ブザー、Eメール、アラーム出力)を設定します。

(3) Disconnect

本機がネットワークから切断された場合、それを通知する方法(ブザー、Eメール、アラーム出力)を設定します。

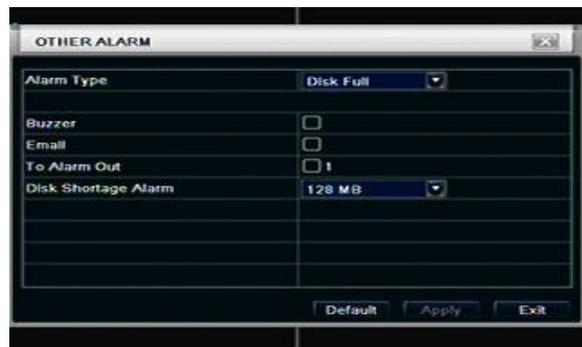


図 40. その他のアラーム設定画面

5-5-5. アラーム出力設定

アラーム出力設定にはサブメニューとしてアラーム出力設定、スケジュール設定、ブザー設定が含まれます。

メインメニューの中のSetup(設定)  を選択し、表示されたSETUP(設定)画面の中のAlarm(アラーム)  を、さらにその中のAlarm out(アラーム出力)を選択すると、図41.のアラーム出力設定画面が表示されます。

(1) Alarm Out(アラーム出力設定)

ここでは、アラーム・リレー出力の名前、アラームの保持時間を設定します。

(2) Schedule(スケジュール設定)

Schedule(スケジュール)タブをクリックするとスケジュール設定画面が表示されます。ここではアラーム出力機能を有効にするスケジュールを設定します。



図 41. アラーム出力設定画面

設定方法は、録画スケジュールの設定と同じです。詳細はP16 5-4-1.録画スケジュール設定を参照ください。

(3) Buzzer (ブザー設定)

Buzzer (ブザー) タブをクリックするとスケジュール設定画面が表示されます。ここでブザーをOFFに設定すると、すべてのイベントに対してブザーは鳴りません。Holding Time (保持時間) でブザーの鳴動時間を設定します。

アラーム設定が終了したらApply (適用) 釦をクリックしてください。設定内容が保存されます。

引き続きExitをクリックしてください。図15.の設定画面に戻ります。

5-6. ネットワーク設定

ネットワーク設定にはサブメニューとしてネットワーク設定、ネットワークストリーム設定、Eメール設定、その他の設定が含まれます。

5-6-1. ネットワーク設定

メインメニューの中のSetup (設定)  を選択し、表示されたSETUP (設定) 画面の中のNetwork (ネットワーク設定)  を選択すると図42.のネットワーク設定画面のNetwork (ネットワーク設定) メニューが表示されます。

HTTPポートは初期設定で80です。これを変更した場合は、インターネットブラウザでIPアドレスの最後にコロン (:) を付け、続けて変更したポート番号を入力する必要があります。

Server Port (サーバポート/データポート) は初期値で6036です。



図 42. ネットワーク設定画面

インターネットに接続する方法として、次の3種類の方法に対応しています。ネットワーク環境に応じて選択してください。

- ①固定IP : IP Address、Subnet Mask、Gateway、DNSを入力してください。
- ②DHCP : Obtain an IP address automatically (IPアドレスを自動取得する) にチェック (✓) を入れてください。
- ③PPPoE : インターネットプロバイダーからのUser Name (ユーザ名) とPassword (パスワード) を入力してください。

どの方法を選択した場合でも、Apply (適用) をクリックして設定を保存する前に、Test (テスト) をクリックし、設定に間違いがないか確認してください。

5-6-2. ネットワークストリーム

ネットワーク設定画面でSub Stream (サブストリーム) タブを選択すると、図43.のネットワークストリーム設定メニューが表示されます。ここでは、伝送する映像の解像度、フレームレート、画質をカメラ毎に設定します。

(1) Resolution (解像度)

プルダウンメニューのD1 (720 x 480)、CIF (360 x 240) の内いずれかを選択してください。

(2) fps (フレームレート)

プルダウンメニューの中から、伝送コマ数を選択してください。



図 43. ネットワークストリーム設定画面

(3) Quality (画質)

伝送する画質をプルダウンメニューの中から選択してください。

Highest	Higher	Medium	Lower	Lowest
	(高)	← (画質)	→	(低)

All(すべて)にチェック(✓)を入れると、Allに設定された内容がすべてのカメラに適用されます。

Default(初期化)鈕をクリックすると設定した値が工場出荷時の初期値に戻ります。

設定が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定内容が保存されます。

5-6-3. Eメール設定

ネットワーク設定画面でEmail(Eメール)タブを選択すると、

図44.のEメール設定メニューが表示されます。

ここではアラーム発生情報などを通知するEメールについて設定します。

(1) SMTP Server/Port (SMTPサーバ/ポート)

SMTPサーバの名前とポート番号を入力してください。SMTPサーバがgmailのように安全性の高い接続をサポートしている場合は、SMTPポートを465に設定し、SSL Check(チェック)にチェック(✓)を入れてください。

(2) Send Address/Password (送信者アドレス/パスワード)

送信者のメールアドレスとパスワードを入力してください。

(3) Receive Address (受信者アドレス)

受信者のメールアドレスを入力してください。受信者アドレスは3箇所まで設定できます。

受信者アドレスの設定が終了したらTest(テスト)鈕をクリックしてください。設定したアドレスが有効であるかを確認することができます。

(4) Attaching Image Amount (添付画像数)

Eメールに添付する画像の枚数を設定します。最大で3枚まで添付できます。

(5) Snap Time Interval(s) (スナップ間隔時間)

複数の画像を添付する場合、1枚目の画像から2枚目の画像(または2枚目の画像から3枚目の画像)までの間隔(秒)を設定します。

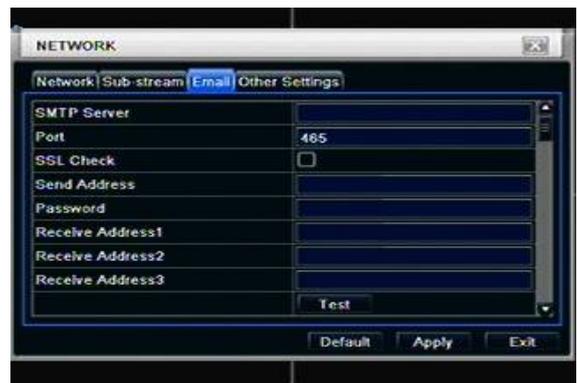


図 44. Eメール設定画面

5-6-4. その他の設定

ネットワーク設定画面でOther Settings(その他の設定)タブを選択すると、図45.のその他の設定メニューが表示されます。

ここではDDNSについて設定します。

DDNSサービスを使用する場合はDDNSの右欄にチェック(✓)を入れてください。続いてDDNS Server(DDNSサーバ名)、User Name(ユーザ名)、Password(パスワード)、Host Domain(ホストドメイン名)を入力し、Update Interval(M)(更新間隔)でDDNSの更新間隔(分)をプルダウンメニューの中から選択してください。設定が終了したらTest(テスト)鈕をクリックしてください。設定した内容が有効であるかを確認することができます。

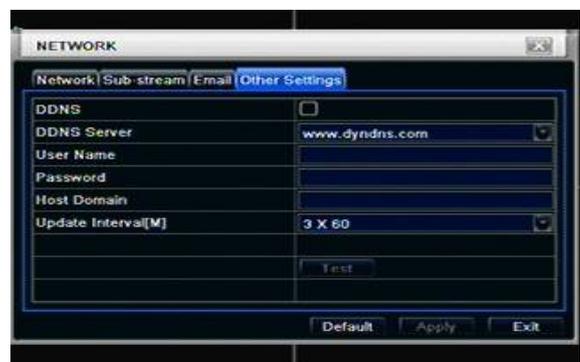


図 45. その他の設定画面

(注)DDNSの本機への入力前に、DDNSサービス会社からユーザ名、パスワードを入手する必要があります。

Default (初期化) 釦をクリックすると設定した値が工場出荷時の初期値に戻ります。
 設定が終了したらApply (適用) 釦をクリックしてください。設定内容が保存されます。
 引き続きExitをクリックしてください。図15.の設定画面に戻ります。

5-7. ユーザ管理設定

ユーザ管理設定では本機にログインまたはネットワークを介してアクセス可能なユーザを登録します。

メインメニューの中のSetup (設定)  を選択し、表示されたSETUP (設定) 画面の中のUsers (ユーザ管理設定)  を選択すると図46.のユーザ管理設定画面が表示されます。

(1) ユーザの追加

図46.のユーザ管理設定画面でAdd (追加) 釦をクリックすると図47.のユーザ追加登録画面が表示されます。

① User Name (ユーザ名)

新規に登録するユーザ名を入力してください。

② Password (パスワード)

パスワードを入力してください。

③ Confirm Password (パスワードの確認)

確認のため、②で入力したパスワードをもう一度入力してください。

④ User Type (ユーザタイプ)

新規に登録するユーザに与える操作権限 (ユーザレベル) をプルダウンメニューの中から選択します。

各ユーザレベルに対する操作権限は下表のとおりです。



図 46. ユーザ管理設定画面



図 47. ユーザ追加登録画面

ユーザレベル	操作権限
Admin (アドミン)	DVRのすべての操作が可能です。Adminには一人のユーザしか登録できません。
Advance (アドバンス)	次の項目を除くすべての操作が可能です。 ファームウェアのアップグレード、初期設定状態へのリセット、シャットダウン、自分以外のユーザ登録変更及び削除
Normal (ノーマル)	ライブ映像監視、再生、検索、バックアップ、ログオフ、DVR情報の閲覧、自身のパスワード変更

⑤ Binding PC MAC Address (PC MACアドレスの限定) / PC MAC Address (PC MACアドレス)

初期設定ではMACアドレスが 0 に設定されており、ユーザは本機にアクセスするPCを特定されません。ユーザ名とパスワードが一致すればどのPCからもアクセスが可能です。しかしBinding PC MAC Address (PC MACアドレスの限定) の右欄にチェック (✓) を入れ、PC MAC Address (PC MACアドレス) の欄にMACアドレスを入力すると、本機にアクセス可能なPCを、入力したMACアドレスを持つPCだけに限定できます。

ユーザ登録が終了したらOK釦をクリックし設定内容を保存してください。続いてExit釦をクリックすると図46.のユーザ管理設定画面に戻ります。

(2) ユーザの変更

図46.のユーザ管理設定画面で登録内容を変更するユーザを選択し、Setup(設定) 鈕をクリックすると、ユーザ情報が表示されます。変更する内容に書き換えOK鈕をクリックし変更内容を保存した後、Exit鈕をクリックしてください。図45.のユーザ管理設定画面に戻ります。

(3) ユーザの削除

図46.のユーザ管理設定画面で削除するユーザを選択し、Delete(削除) 鈕をクリックすると、選択されたユーザが削除されます。

(4) パスワードの変更

図46.のユーザ管理設定画面でパスワードを変更するユーザを選択し、Change Password(パスワード変更) 鈕をクリックすると、パスワード変更画面が表示されます。但し、変更できるのは、ログインしたユーザのパスワードだけです。別のユーザのパスワードを変更しようとすると、User can only change their password when log in.(ユーザはログイン時のパスワードのみ変更できます。)という警告が表示されますので、OK鈕をクリックしてください。

Old Password(古いパスワード) 欄に今までのパスワードを入力後、New Password(新しいパスワード) 欄に新しいパスワードを入力し、Confirm Password(パスワードの確認) 欄に確認のためもう一度新しいパスワードを入力してください。変更登録が終了したらOK鈕をクリックし設定内容を保存してください。

5-8. PTZ設定

PTZ設定にはサブメニューとしてシリアルポート設定、詳細設定が含まれます。

5-8-1. シリアルポート設定

メインメニューの中のSetup(設定)  を選択し、表示されたSETUP(設定)画面の中のP.T.Z.(PTZ設定)  を選択すると図48.のPTZ設定画面のシリアルポート設定メニューが表示されます。

Enable(有効)にチェック(✓)を入れると、そのチャンネルを選択したときに、シリアルポートが有効になります。

Address(アドレス)は、そのチャンネルに接続するPTZカメラのアドレスをプルダウンメニューの中から選択してください。

Baud Rate(ボーレート)は使用するPTZカメラに合わせてプルダウンメニューの中から選択してください。

Protocol(プロトコル)は使用するPTZカメラに合わせてプルダウンメニューの中から選択してください。



図 48. シリアルポート設定画面

5-8-2. 詳細設定

PTZ設定画面でAdvanced(詳細設定)タブを選択すると、図49.の詳細設定メニューが表示されます。

ここでは、カメラ毎にPTZの次の動作を設定します。

- Preset(プリセット)
- Cruise(クルーズ) : 複数のプリセット位置を順にたどります。
- Track(トラック) : マニュアル操作を記憶させることにより、PTZは記憶した操作と同様の動作をします。



図 49. 詳細設定画面

(1)Preset(プリセット)

Preset(プリセット)欄のSetting(設定)をクリックすると、図50.のプリセット設定画面が表示されます。設定するプリセット位置の数までEnable(有効)欄にチェック(✓)を入れてください。それぞれのプリセット位置には名前を付けることができます。Name(名前)の欄にプリセット位置の名前を入力してください。次にPreset(プリセット)欄のSetting(設定)をクリックすると、図51.のプリセット操作パネルが表示されます。



図 50. プリセット設定画面

プリセット操作パネルでプリセット位置とSpeed(スピード)を設定したらSave(保存)鈕をクリックし、設定内容を保存してください。終了する場合は  アイコンをクリックしプリセット操作パネルを閉じてください。

続けて別のプリセット位置を設定する場合は、No.のプルダウンメニューから、設定するプリセット番号を選択し、同様にプリセット位置を設定してください。

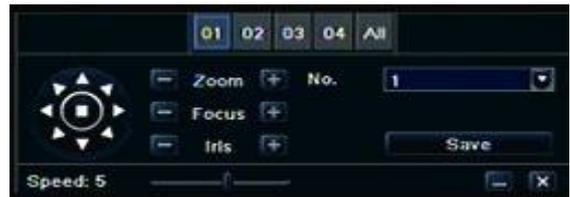


図 51. プリセット操作パネル

(2)Cruise(クルーズ)

図49.の詳細設定画面でCruise(クルーズ)欄のSetting(設定)をクリックすると、図52.のクルーズリストが表示されます。選択したカメラに適用するクルーズ番号をリストの中から選択し、OK鈕をクリックしてください。

リストに新たにクルーズを追加する場合はAdd(追加)鈕をクリックし、また既にリストの中にあるクルーズの内容を変更する場合は、変更するクルーズ番号を選択して、Setup(設定)鈕をクリックしてください。図53.のクルーズ設定画面が表示されます。



図 52. クルーズリスト

クルーズ設定画面のリストにプリセットを登録し、クルーズを完成させます。追加  アイコンをクリックするとプリセット選択メニューが表示されます。メニューの中からプリセット番号、Speed(動作スピード)、Time(停止時間)を選択し、 鈕をクリックしてください。リストにプリセットが登録されます。登録されたプリセットを削除する場合は、削除するプリセットを選択し削除  アイコンをクリックしてください。



図 53. クルーズ設定画面

クルーズに登録されたプリセットを変更する場合は、リストの中から変更するプリセットを選択し、編集  アイコンをクリックしてください。プリセット選択メニューが表示されますので新しいプリセット番号、Speed(動作スピード)、Time(停止時間)を選択し、 鈕をクリックしてください。

    アイコンをクリックすると選択した位置が上下に移動し、 をクリックするとページを移動することができます。

Preview(プレビュー)鈕をクリックすると設定したクルーズを動作させることができます。

設定が終了したらOK鈕をクリックしてください。設定内容が保存され図52.のクルーズリストに戻ります。

図52.のクルーズリストで登録されたクルーズを選択し、Delete(削除)鈕をクリックすると選択されたクルーズがリストから削除されます。またClear All(すべてをクリア)鈕をクリックするとリスト内のすべてのクルーズが削除されます。クルーズの設定が終了したらOK鈕をクリックしてください。設定内容が保存され図49.の詳細設定画面に戻ります。

(3)Track(トラック)

図49.の詳細設定画面でTrack(トラック)欄のSetting(設定)をクリックすると、図54.のトラック設定パネルが表示されます。

トラック設定パネルを使用し、実際にPTZを操作することにより、その動作を記憶させることができます。



図 54. トラック設定パネル

Start Record(記録開始)鈕をクリックし、操作パネルでPTZを操作して

ください。操作が終了したらもう一度Start Record鈕をクリックしてください。今の操作によるPTZの動作が一時的に記憶されます。記憶された動作を確かめるにはStart Track(トラック開始)鈕をクリックしてください。動作の確認を終了するにはStart Track鈕をもう一度クリックしてください。動作確認中に、トラック設定パネルが邪魔になり、モニタの映像が見つからない場合は  鈕をクリックしてください。トラック設定パネルがモニタ画面から消えます。モニタ画面上で左クリックするとトラック設定パネルが再び表示されます。

トラック設定が終了したら  鈕をクリックしてください。設定内容が保存され図49.の詳細設定画面に戻ります。

Default(初期化)鈕をクリックすると設定した値が工場出荷時の初期値に戻ります。

設定が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定内容が保存されます。

引き続きExitをクリックしてください。図15.の設定画面に戻ります。

5-9. リセット

メインメニューの中のSetup(設定)  を選択し、表示されたSETUP(設定)画面の中のReset(リセット)  を選択すると“Reset all setting, System will reboot.”(すべての設定をリセットし、システムをリブートします。)という警告が表示されます。リセットしてもよければOK鈕をクリックしてください。本機はシャットダウンされ、再び自動的に立ち上がります。Cancel(キャンセル)鈕をクリックすると、リセットはされずにSETUP(設定)画面に戻ります。

(注)リセットを実行すると登録したユーザ、パスワードも消去されますので、充分注意してください。

また時刻もGMT(グリニッジ標準時)に戻りますので、再立ち上げ後GMT +09:00に設定してください。

6. 検索・再生・バックアップ

録画検索にはサブメニューとして、時間検索、イベント検索、ファイル管理が含まれます。

6-1. 時間検索

メインメニューの中のSearch(検索)  を選択すると図55.の検索画面の時間検索画面が表示されます。

VGA800x600またはビデオモニターを使用している場合は、メニュー画面の一部が隠れていることがあります。画面の  または  部分をクリックすると隠れている部分が表示されます。

時間検索メニューの右側にはカレンダーが表示されています。再生するデータの日付の年と月をそれぞれのプルダウンメニューから選択してください。録画データのある日付は青い枠で表示されています。再生するデータの日付を選択し、Search(検索) 鈕をクリックしてください。



図 55. 時間検索画面

時間検索メニューの左側には、選択した日付の中で、録画データのある時間がカメラごとに青いバーで表示されます。青いバーの中の再生を開始する時刻付近でクリックし  鈕をクリックしてください。再生が開始されます。

再生するデータの日付時刻が予め決まっている場合は、その日付時刻を入力し再生させることができます。時間検索メニュー左側のStart Time(開始時刻)の下にある  をクリックするとカレンダーが表示されます。表示されたカレンダーから再生させるデータの日付を選択してください。次に年月日の右にある時刻ボックスに再生を開始する時刻を入力し  鈕をクリックしてください。再生が開始されます。

6-2. 再生操作

再生が開始されると画面の下部に図56.の再生操作メニューが表示されます。再生中の操作は、すべてこの再生操作メニューで行います。この再生操作メニューは右端にある  鈕をクリックすると画面から消え、再生画面上で右クリックすると再び表示されます。右端にある  鈕をクリックすると再生が終了します。再生を終了させると図55.の時間検索画面に戻ります。



図 56. 再生操作メニュー

(1)コマ送り再生

再生を  鈕で一時停止させ、  鈕をクリックしてください。  鈕をクリックする度に1フレームずつ進みます。

(2)早送り再生(スロー再生)

再生中に  鈕をクリックすることにより、再生のスピードを変えることができます。  鈕をクリックする度に再生スピードは次のように変化します。

→ 2X → 4X → 8X → 16X → 1/4X → 1/2X → 1X →

また  鈕の右にある  鈕をクリックし、表示されたプルダウンメニューの中から再生スピードを選択することもできます。

(3) 逆戻し再生

再生中に◀️鈕をクリックすると逆戻し再生が開始します。◀️鈕をクリックする度に逆戻し再生のスピードは次のように変化します。

➡️ 8X ➡️ 16X ➡️ 32X ➡️ 通常再生

また◀️鈕の右にある^鈕をクリックし、表示されたプルダウンメニューの中から逆戻しスピードを選択することもできます。

(4) 画面表示モード

□鈕をクリックすると再生映像はフル画面で表示され、⊞鈕をクリックすると4分割画面で表示されます。フル画面表示しているときに、さらに□鈕をクリックすると次のカメラに切り替わります。また□鈕の右にある^鈕をクリックし、表示されたプルダウンメニューの中からフル画面表示するカメラを選択することもできます。

再生中に再生過程を示すツマミをルーラ上でドラッグすることにより再生位置(時刻)を移動させることができます。

再生過程はセグメント(30分)単位で表示されます。再生中に“前のセグメント”(◀️)鈕をクリックすると、再生されるデータが1つ前のセグメントの先頭に移動します。また“次のセグメント”(▶️)鈕をクリックすると、再生されるデータが1つ先のセグメントの先頭に移動します。

6-3. イベント検索

検索画面でEvent Search(イベント検索)タブをクリックすると、図57.のイベント検索画面が表示されます。



図 57. イベント検索画面

右側のカレンダーでは、イベントのあった日付が青い枠になって表示されています。イベントを検索する日付を選択し、画面右上にあるSearch(検索)鈕をクリックしてください。画面左側にイベントのリストが表示されます。

イベントはモーション検知と外部アラームです。□Motionだけに✓を入れSearch(検索)鈕をクリックするとモーション検知だけが、また□Sensorだけに✓を入れSearch(検索)鈕をクリックすると外部アラームだけが表示されます。両方または□Allに✓を入れSearch(検索)鈕をクリックするとモーション検知と外部アラームの両方のイベントが表示されます。選択した日付に指定したイベントがなかった場合は、No data.(データがありません)というメッセージが表示されますので、OK鈕をクリックしてください。

リストが複数ページにわたる場合は ◀️◀️▶️▶️ をクリックすることにより、ページを移動することができます。

本機がモーション検知、外部アラーム(センサー)に連動して録画を開始するよう設定してある場合は、リストの中のイベントをダブルクリックすることにより該当の録画映像が再生されます。

VGA800x600またはビデオモニタを使用している場合は、メニュー画面の一部が隠れていることがあります。

画面の ◻️ または ◻️ 部分をクリックすると隠れている部分が表示されます。

(4)ファイルの再生

リスト中の再生するファイルの上でダブルクリックしてください。ダブルクリックされたファイルがフル画面で再生されます。再生中の操作は6-2.再生操作を参照ください。

6-5. バックアップ

メインメニューの中のBackup(バックアップ)  を選択すると図59.のバックアップ画面が表示されます。

画面右側のStart Time(開始時間)の欄に、バックアップするデータの開始日付時刻を、またEnd Time(終了時刻)の欄にデータの終了日付時刻を設定してください。

次に 1 2 3 4 の欄で、バックアップするデータのチャンネルに✓を入れてください。

この状態でSearch(検索)鈕をクリックすると、指定したチャンネルの設定した開始日付時刻から終了日付時刻までのデータを含むファイルの一覧が、画面の左側に表示されます。表示されたファイル一覧の中に、バックアップする必要のないファイルがあればそのファイルの✓を外してください。そのファイルに含まれるデータはバックアップされません。

次に、バックアップデータを保存するUSBメモリまたはUSB接続のメディアを前面パネルのUSBスロットに接続し、Backup(バックアップ)鈕をクリックすると図60.のバックアップ情報が表示されます。

接続したUSBメモリなどのUSB機器が本機に認識されなかったり、バックアップする有効なデータが無かったりすると、”No device or no valid file.”(デバイスまたは有効なファイルがありません。)と表示されます。OK鈕をクリックし、もう一度やり直してください。

バックアップ情報のStart Time(開始時間)とEnd Time(終了時刻)の欄には、今設定した開始・終了時刻が表示されます。

The Number Of Files(ファイルの数)の欄には、バックアップするデータを含むファイルの数が表示されます。

Size[GB](サイズ[GB])の欄にはバックアップするデータの容量が表示されます。

Storage Media(保存メディア)の欄は本機ではUSB-1のまま変更することができません。

Free[GB](空き容量[GB])の欄には、接続したメディアの空き容量が表示されます。

Backup Player(バックアッププレイヤー)の に✓を入れるとバックデータをメディアに保存する際に、バックアップデータを再生するためのソフトも同時にメディアに保存されます。この再生ソフトは、保存ファイルの形式をDVRにしたときのデータを再生するために使用します。詳細は次項6-6.再生専用ソフトを参照ください。

Save File Type(保存ファイルの形式)の欄では、バックアップデータのファイル形式としてDVRまたはAVIを選択します。

DVR形式で保存されたファイルの再生には、専用の再生ソフトが必要です。専用の再生ソフトはBackup Player(バックアッププレイヤー)の項目で✓を入れることにより、データと同時にメディアに保存されます。

AVI形式で保存されたファイルはWindows Media Playerなどで再生が可能です。

(注)バックアップデータのファイルは、バックアップ操作を行った年月日時分秒を表す14桁の数字で名付けられたフォルダ内に保存されます。

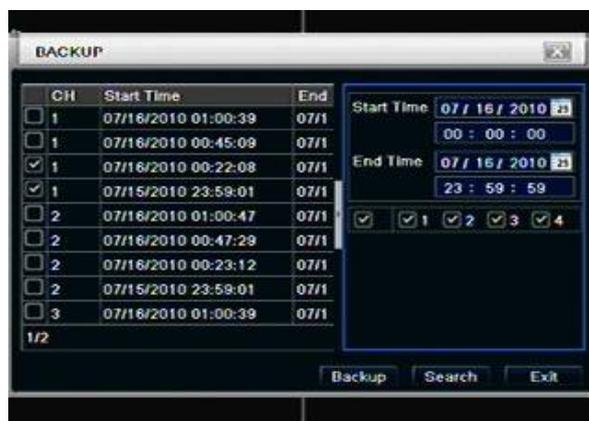


図 59. バックアップ画面



図 60. バックアップ情報

6-6. 再生専用ソフト

6-6-1. 再生専用ソフトのインストール

録画データをバックアップする際に、Backup Player(バックアッププレイヤー)の に✓を入れると、メディアには録画データと共に、再生専用ソフトが”VideoPlayer”という名前のフォルダに保存されます。

メディアをPCで開くと図61.のように、録画データと再生ソフトのフォルダが表示されます。

次に、”VideoPlay”フォルダをダブルクリックして開くと、図62.のように、再生ソフトをインストールするための実行ファイル”VideoPlayEx.exe”が表示されます。

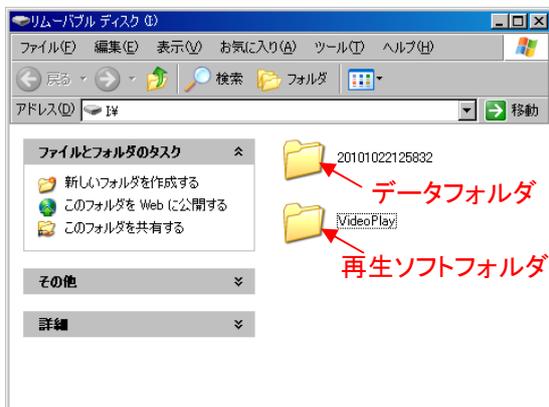


図 61. メディア内フォルダ

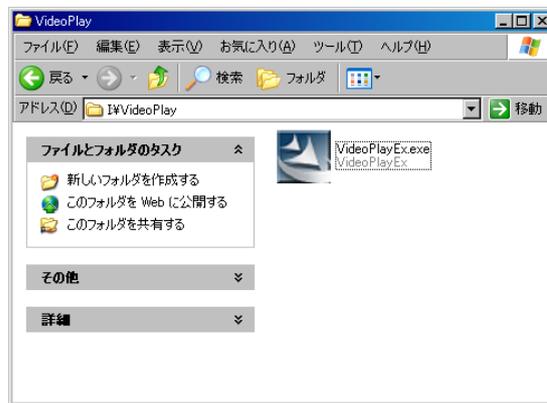


図 62. インストール実行ファイル

引き続き”VideoPlayEx.exe”  をダブルクリックすると、図63.のインストールウィザードが立ち上がりますのでNext>鈕をクリックしてください。図64.が表示され、再生ソフトを保存する場所を聞いてきます。”Program files”フォルダの中でよければそのままNext>鈕を、また別の場所に保存する場合はChange...鈕をクリックし、保存場所を指定した後Next>鈕をクリックしてください。図65.のインストール過程が表示され自動的に図66.の再生ソフト”Super Player”が立ち上がります。



図 63. インストールウィザード

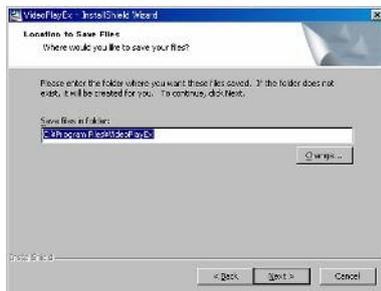


図 64. 保存場所指定



図 65. インストールウィザード

再生ソフトを保存するように指定した場所には”VideoPlayEx”フォルダが作成され、フォルダの中には1つのフォルダと2つのファイルが保存されています。次回、再生ソフトを立ち上げる場合は、この中のVideoPlayEx.exe  をダブルクリックしてください。

(注)再生ソフトの保存場所にデスクトップを指定した場合は、”VideoPlayEx”フォルダは作成されず、1つのフォルダと2つのファイルが、デスクトップに直接保存されます。

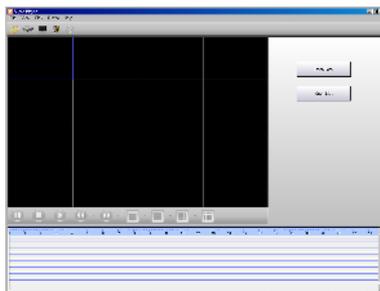


図 66. 再生ソフト”Super Player”

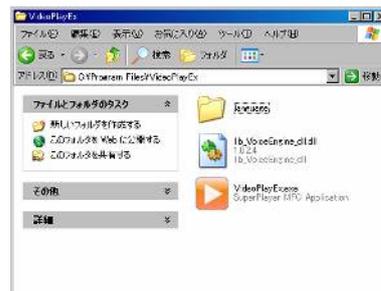


図 67. VideoPlayEx フォルダ内

6-6-2. 再生専用ソフトの使用法

(1) ファイルを開く

バックアップデータの保存されたUSBメディアをPCに接続し、図66.の再生ソフト”Super Player”の起動画面で、右にあるOpen Path(パースを開く) 釦、またはツールバーの  をクリックしてください。図68.のコンピュータの参照ウィンドウが表示されます。

表示されたエクスプローラの中からバックアップデータの保存されたディスクの  をクリックし、再生させるデータフォルダを選択しOK釦をクリックしてください。図66.の起動画面が図69.の再生画面に変わります。



図 68. コンピュータの参照

(2) 再生の開始

バックアップデータの日付がカレンダー上でハイライトされ、下部の表には、バックアップデータの時間が青いバーで表示されます。再生を開始する時間付近までカーソルをドラッグし、カーソル上部の△を右クリックしてください。図70.のようにカーソル付近の時間軸が拡大されますので、再生を開始する時刻を容易に微調整することができます。カーソルを再生時刻に移動したら  釦をクリックしてください。再生が開始します。再生する必要のないチャンネルはカメラ名の左の から マークをはずし、Search(検索)釦をクリックしてください。✓マークの入ったチャンネルだけが再生されます。

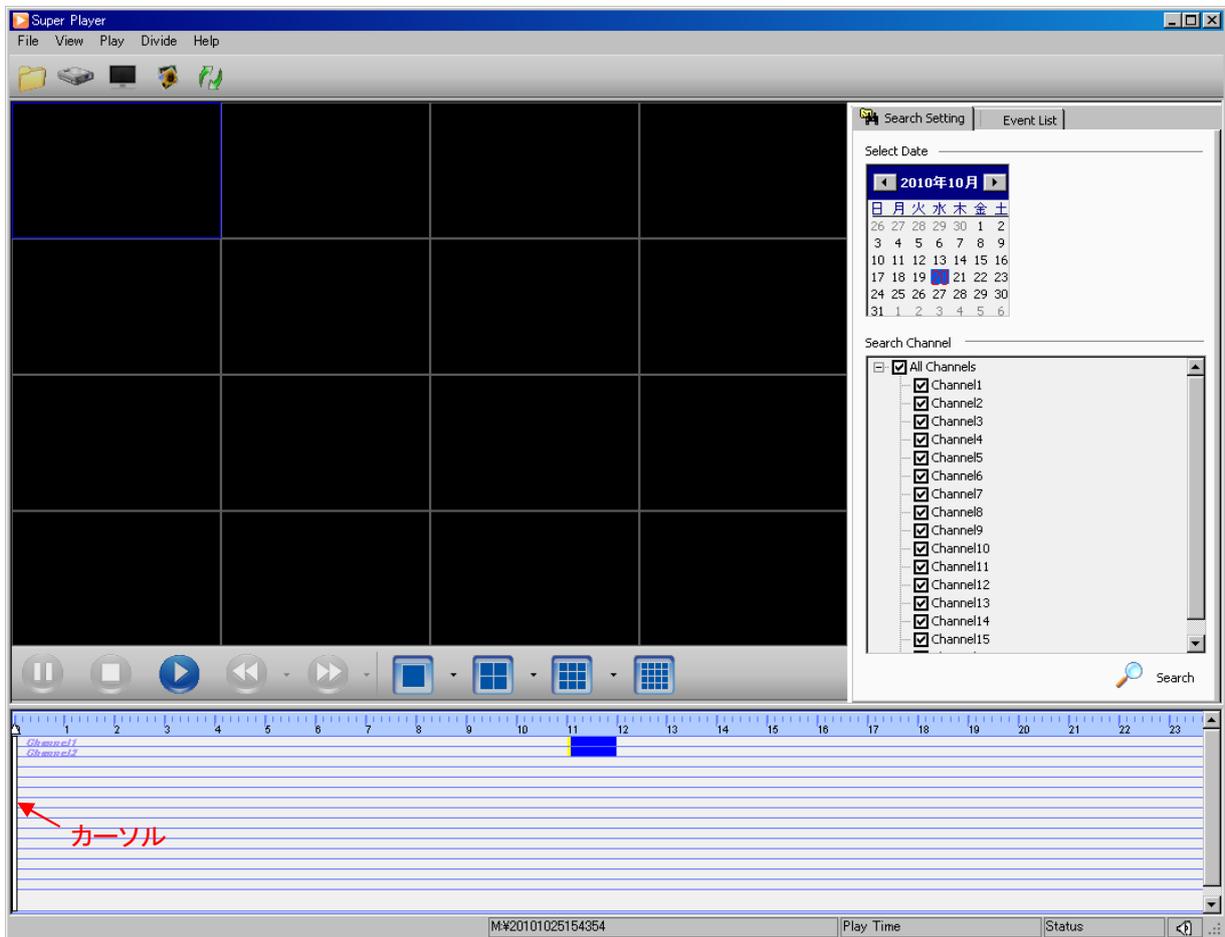


図 69. バックアップデータ再生画面

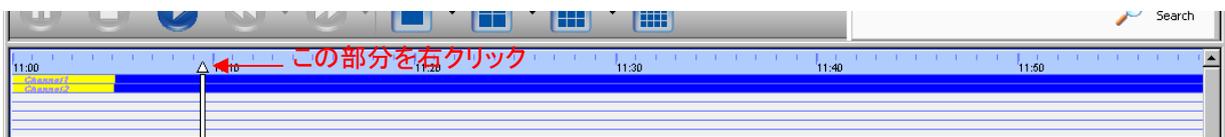


図 70. 時間軸の拡大

(注)動きのない録画データを再生しようとする、再生画面にしばらく再生映像が表示されないことがあります。その場合は、再生を  釦で一旦停止し、カーソルで再生を開始する時刻を多少変えてから、再度  釦で再生を開始してください。

(3)再生中の操作



図 71. 再生操作釦

- ①再生:  釦をクリックすると再生が開始されます。
- ②停止:  釦をクリックすると再生が停止します。
- ③早送り:再生中に  釦をクリックすると早送り再生ができます。再度クリックすると早送りのスピードがx2、x4、x8、x16と変化します。また釦の右にある▼をクリックすると、早送りに加え、x1/2、x1/4のスロー再生をプルダウンメニューの中から直接選択できます。
- ④逆戻し:再生中に  釦をクリックすると逆戻し再生ができます。クリックするたびに逆戻し再生のスピードがx8、x16を繰り返します。また釦の右にある▼をクリックすると、逆戻し再生のスピードをプルダウンメニューの中から直接選択できます。
- ⑤一時停止:再生中に  釦をクリックすると再生が一時停止します。再生の再開には  釦をクリックしてください。
- ⑥画面分割選択: 、、、 の中から表示する分割画面を選択してください。フル画面表示のとき、釦の右にある▼をクリックすると、プルダウンメニューの中から表示させるチャンネルを直接選択することができます。
- ⑦フル画面表示:分割画面を表示中にフル画面表示させたい映像の上でダブルクリックするとその映像がフル画面表示されます。フル画面表示中に  釦をクリックすると次のチャンネルの映像が表示されます。また釦の右にある▼をクリックすると、表示されたプルダウンメニューの中から、フル画面表示させるチャンネルを直接選択することができます。

(4)イベントの表示

図69.のバックアップデータ再生画面でEvent List(イベントリスト)タブをクリックすると、図72.のようにバックアップデータの時間帯に含まれるイベントのリストが表示されます。イベントが録画動作を伴っている場合は、そのイベントをダブルクリックすることにより、再生を開始させることができます。

Index	Channel	Type	Start Time	E
1	Channel1	Schedule	2010-10-20 10:59:59	2
2	Channel1	Motion	2010-10-20 10:59:59	2
3	Channel1	Schedule	2010-10-20 11:12:28	2
4	Channel1	Schedule	2010-10-20 11:36:58	2
5	Channel2	Schedule	2010-10-20 10:59:58	2
6	Channel2	Motion	2010-10-20 10:59:58	2
7	Channel2	Schedule	2010-10-20 11:11:47	2
8	Channel2	Schedule	2010-10-20 11:36:48	2

図 72. イベントリスト

7. DVR管理

7-1. DVR情報

Information(情報)にはサブメニューとして、システム情報、イベント情報、ログ情報、ネットワーク情報、オンラインユーザ情報が含まれます。

7-1-1. システム情報

メインメニューの中のInformation(情報)  を選択し、表示されたINFORMATION(情報)メニューの中のSystem(システム)を選択すると図73.のシステム情報画面が表示されます。

(1)Device Name(機器の名称)、(2)Device ID(機器のID)・・・5-1-1.システム設定で設定した内容です。

(3)Hardware Version(ハードウェアバージョン)・・・本機のハードウェアのバージョンです。

(4)MCU Version(MCUバージョン)・・・本機に使用されているMCUのバージョンです。(5)Kernel Version(Kernelバージョン)・・・本機に使用されているOS(Kernel)のバージョンです。

(6)Firmware Version(ファームウェアバージョン)・・・本機に使用されているファームウェアのバージョンです。(7)Launch Date(使用開始日)・・・本機を使用開始した日付時刻です。



Device Name	EDVR
Device ID	0
Hardware Version	200.0.4-v1.01
MCU Version	---
Kernel Version	1005291849-1004221751-1005291
Firmware Version	3.1.0.B
Launch Date	2010-07-07 18:23:00

図 73. システム情報画面

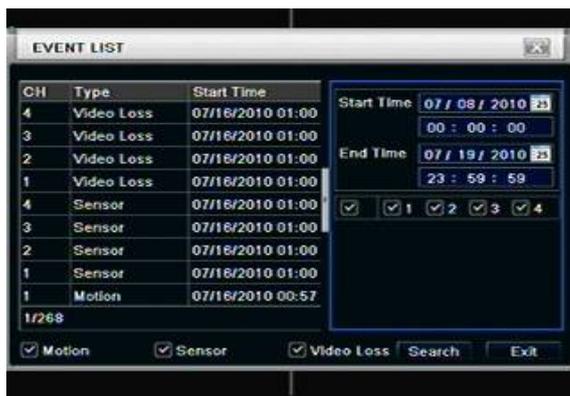
7-1-2. イベント情報

メインメニューの中のInformation(情報)  を選択し、表示されたINFORMATION(情報)メニューの中のEvent(イベント)を選択すると図74.のイベント情報画面が表示されます。

この画面から、本機に保存されたイベントを検索し表示します。検索範囲の最初の日付時刻をStart Time(開始時刻)の欄に、また最後の日付時刻をEnd Time(終了時刻)の欄に設定し、Search(検索)鈕をクリックしてください。指定した日付時刻範囲に発生したイベントのリストが、画面の左側に表示されます。

Search(検索)鈕をクリックする前に  や  の✓を外

すことにより検索するイベントのチャンネル、イベントの種類を絞り込むことができます。



CH	Type	Start Time
4	Video Loss	07/18/2010 01:00
3	Video Loss	07/18/2010 01:00
2	Video Loss	07/18/2010 01:00
1	Video Loss	07/18/2010 01:00
4	Sensor	07/18/2010 01:00
3	Sensor	07/18/2010 01:00
2	Sensor	07/18/2010 01:00
1	Sensor	07/18/2010 01:00
1	Motion	07/18/2010 00:57

Start Time: 07/08/2010 00:00:00
End Time: 07/19/2010 23:59:59
Search: [Motion] [Sensor] [Video Loss] [Search] [Exit]

図 74. イベント情報画面

7-1-3. ログ情報

メインメニューの中のInformation(情報)  を選択し、表示されたINFORMATION(情報)メニューの中のLog(ログ)を選択すると図75.のログ情報画面が表示されます。

この画面から、本機に保存されたログを検索し表示します。検索範囲の最初の日付時刻をStart Time(開始時刻)の欄に、また最後の日付時刻をEnd Time(終了時刻)の欄に設定し、Search(検索)鈕をクリックしてください。指定した日付時刻範囲に発生したログのリストが、画面の左側に表示されます。



Type	User Name	Time
Check Log	admin	07/19/2
Check Event	admin	07/19/2
Check Event	admin	07/19/2
Check Event	admin	07/19/2
Time Search	admin	07/19/2
Event Search	admin	07/19/2
Time Search	admin	07/19/2
Time Search	admin	07/19/2
Stop	admin	07/19/2

Start Time: 07/08/2010 00:00:00
End Time: 07/19/2010 23:59:59
Search: [Operation] [Setup] [Playback] [Backup] [Search] [Export] [Search] [Exit]

図 75. ログ情報画面

Search(検索)鈕をクリックする前にOperation(操作)、Setup(設定)、Playback(再生)、Backup(バックアップ)、Search(検索)、Check Informatio(情報の確認)、Error(えらー)のそれぞれ左にある✓を外すことにより検索するログの種類を絞り込むことができます。

7-1-4. ネットワーク情報

メインメニューの中のInformation(情報)  を選択し、表示されたINFORMATION(情報)メニューの中Network(ネットワーク)を選択すると図76.のネットワーク情報画面が表示されます。この画面には5-6-1.ネットワーク設定で設定した内容、現在のネットワークの接続状態、及び本機のMACアドレスが表示されます。



図 76. ネットワーク情報画面

7-1-5. オンラインユーザ情報

メインメニューの中のInformation(情報)  を選択し、表示されたINFORMATION(情報)メニューの中Online Users(オンラインユーザ)を選択すると図77.のオンラインユーザ情報画面が表示されます。

この画面には、インターネットまたはLANを介して、現在、本機に接続中(オンライン)のユーザ名、IPアドレス、接続状態が表示されます。

Refresh(リフレッシュ)鈕をクリックすると、クリックした時点の接続中ユーザが表示されます。



図 77. オンラインユーザ情報画面

7-2. ディスク管理

メインメニューの中のDisk Management(ディスク管理)  を選択すると図78.のディスク管理画面が表示されます。

この画面には内部にインストールされているハードディスクと前面パネルのUSBスロットに接続されたUSBデバイスの種類、全容量、空き容量などが表示されます。

Refresh(リフレッシュ)鈕をクリックすると、クリックした時点で接続されているデバイスの情報が表示されます。

この画面でハードディスクを選択し、Format(フォーマット)鈕をクリックすると "All datas in the disk will be deleted after

formatting. Continue or not ?" (フォーマットするとディスクの中のすべてのデータが削除されます。続けますか、中止しますか。)という警告が表示されます。フォーマットしてもよければOK鈕を、中止する場合はCancel(キャンセル)鈕をクリックしてください。

(注)新しいハードディスクをインストールした場合は、録画を開始する前に必ずフォーマットしてください。

フォーマットされていないハードディスクはStatusの欄に Unformatted(フォーマットされていません)と表示され録画することができません。



図 78. ディスク管理画面

7-3. アップグレード

本機は最新のファームウェアに更新することができます。

最新のファームウェアを保存したUSBメモリを、前面パネルのUSBスロットに挿入し、メインメニューの中のUpgrade(アップグレード)  を選択するとアップグレード画面が表示されます。本機がファームウェアの保存されたUSBメモリを認識すると、リストにファームウェアの名称、容量などが表示されます。USBメモリが認識されない場合、またはアップグレード画面を表示させた後でUSBメモリを挿入した場合はRefresh(リフレッシュ) 鈕をクリックしてください。

リストに表示されたファームウェアを選択し、Upgrade(アップグレード) 鈕をクリックしてください。ファームウェアが更新されます。

(注)最新のファームウェアの入手方法は、販売店にご相談ください。

7-4. ログオフ

本機をしばらく操作しない場合などは、本機をログオフすることができます。ログオフすると一切の操作が不能になり、モニタから映像が消え、代わりにNo Authoritative(権限がありません)と表示されます。モニタから映像が消えても、録画は継続されています。

メインメニューの中のLogoff(ログオフ)  を選択すると、”Are you sure to logoff?”(ログオフしてよろしいですか。)という警告が表示されますのでよければOK鈕を、中止する場合はCancel(キャンセル) 鈕をクリックしてください。

ログオフの状態から再度ログインする場合は、画面上でマウスをダブルクリックするか、または右クリックし表示されたプルダウンメニューの中からMain Memu(メインメニュー)  を選択してください。図10.のログイン画面が表示されますので、ユーザ名、パスワードを入力しLogin(ログイン) 鈕をクリックしてください。

7-5. シャットダウン

本機には、電源スイッチが装備されていません。本機が動作中に電源コードを抜いたりすると、内蔵のハードディスクを傷め、その後、正常に録画ができなくなることがあります。本機の電源を切る際には、必ず次の手順で行ってください。

メインメニューの中のShut Down(シャットダウン)  を選択すると、”Are you sure to shut down the system?”(システムをシャットダウンしてよろしいですか。)という警告が表示されますのでよければOK鈕を、中止する場合はCancel(キャンセル) 鈕をクリックしてください。

OK鈕をクリックすると”Please wait...”(お待ちください。)としばらく表示された後、次に赤い文字で”You can safely turn off the power now.”(今、安全に電源を切ることができます。)と表示され、モニタからすべての文字と映像が消えます。

この状態になったら電源コードを抜いてください。

8. 遠隔監視

8-1. DVRへのアクセス

遠隔監視を行なうためには、DVRがLANまたはインターネットに接続されていなければなりません。また本機のネットワーク機能を有効にするために、ネットワークに関する設定が必要です。詳細は5-6.ネットワーク設定を参照ください。

遠隔監視には、インターネットエクスプローラ(以下IE)を利用しますので、遠隔監視のための特別なソフトウェアをインストールする必要ありません。また本機はWindows XP、Windows Vista、Windows 7 をサポートしています。

8-1-1. LAN接続

手順1. 本機にIPアドレス、サブネット、ゲートウェイが設定されていることを確認してください。DHCPを使用する場合は、本機とルータの両方とも、DHCPを有効にしてください。本機に設定されたネットワークに関する情報は、Main Menu(メインメニュー) → Information(情報) → Network(ネットワーク) と選択し、表示された画面で確認することができます。

手順2. 5-6-2.ネットワークストリームで、遠隔監視する映像(伝送させる映像)の解像度、フレームレート、画質が正しく設定されていることを確認してください。

手順3. 本機が接続されているのと同じLAN上にあるPCのIEを立ち上げ、画面上部のアドレス欄に http:// に続き、本機に設定したIPアドレスを入力し、Enterキーを押してください。(例 http://192.168.0.25)

(注)HTTPポートを80以外に設定した場合は、IPアドレスの後ろにコロン(:)と設定したHTTPポート番号を追加してください。(例 http://192.168.0.25:82)

手順4. PCがはじめて本機に接続すると、IEは自動的にActive Xをダウンロードします。つぎに表示される図79.のパスワード入力画面に、本機に設定されたユーザ名とパスワードを入力しLOGIN(ログイン)鈕をクリックしてください。図80.の遠隔監視画面が表示されます。

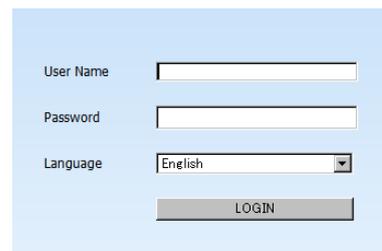


図 79. パスワード入力画面

8-1-2. WAN接続

本機をインターネットに接続するには、2通りの方法があります。

(1) ルータまたはバーチャルサーバを経由して接続する方法

手順1. 本機にIPアドレス、サブネット、ゲートウェイが設定されていることを確認してください。DHCPを使用する場合は、本機とルータの両方とも、DHCPを有効にしてください。

手順2. 5-6-2.ネットワークストリームで、遠隔監視する映像(伝送させる映像)の解像度、フレームレート、画質が正しく設定されていることを確認してください。

手順3. ルータのサーバ機能設定またはバーチャルサーバにIPアドレスとポート番号を設定してください。

DDNSを利用する場合はDVRまたはルータのサポートするDDNSサーバにドメイン名を申請する必要があります。本機がサポートしているDDNSは次の通りです。

www.dns2p.com www.88IP.net www.meibu.com www.dyndns.com www.no-ip.com

手順4. ファイアウォールを閉じてください。

手順5. IEを立ち上げ、IPアドレスまたはダイナミックドメイン名を入力し、Enterキーを押してください。

(注)HTTPポートを80以外に設定した場合は、IPアドレスの後ろにコロン(:)と設定したHTTPポート番号を追加してください。(例 http://202.215.xxx.183:82)

手順6. PCがはじめて本機に接続すると、IEは自動的にActive Xをダウンロードします。つぎに表示される図79.のパスワード入力画面に、本機に設定されたユーザ名とパスワードを入力しLOGIN(ログイン)鈕をクリックしてください。図80.の遠隔監視画面が表示されます。

(2) インターネットに直接接続する方法

手順1. プロバイダから与えられたIPアドレス、サブネット、ゲートウェイを入力してください。ADSLを使用する場合は、ユーザ名とパスワードを入力しOK鈕をクリックしてください。DVRはサーバに接続され「接続に成功しました。」と表示されます。

以下の手順は(1)と同様です。

8-2. 遠隔ライブ映像

PCとDVRとが接続され、ユーザ名とパスワードが認証されると、PCには図80.のライブ映像画面が表示されます。各部の名称と機能は以下の通りです。



図 80. ライブ映像画面

No.	名 称
①	チャンネルの状態表示
②	画面モード
③	音量調整
④	スナップショット
⑤	マニュアル録画開始
⑥	IE録画開始

No.	名 称
⑦	双方向通話
⑧	再生
⑨	ステータス
⑩	カラー調整
⑪	PTZ制御

①チャンネルの状態表示

○ 通常監視映像 ● 録画中 ● モーション検知 ● 映像なし

②画面モード

■鈕をクリックすると1つのカメラがフル画面表示されます。■鈕をクリックする度に表示されるカメラが順に切り換わります。また■鈕の右にある▼をクリックすると図81.のチャンネル選択画面がポップアップされますので、表示させるチャンネルに✓マークを入れOK鈕をクリックすることにより、チャンネルを選択することもできます。

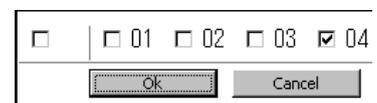


図 81. チャンネル選択画面

■鈕をクリックすると4分割表示されます。

③音量調整

音量調整鈕  をクリックすると、図82.の音量調整用のボリュームがポップアップされます。スライドを上下させることにより音量を調整することができます。

またMute(消音)に✓マークを入れると、音声は完全に消音されます。



図 82. 音量調整ボリューム

④スナップショット

ライブ映像の瞬間を静止画として保存することができます。静止画を保存するチャンネルをフル画面表示にするか、4分割画面の中の静止画を保存するチャンネルの上で一度左クリックし選択してください。選択されたチャンネルは細い青色の枠で囲われます。スナップショット鈕  をクリックするとクリックした瞬間の静止画がビットマップファイルとしてマイドキュメントに保存されます。保存されるビットマップファイルの解像度は352 x 240ドットになります。

⑤マニュアル録画

DVR本体の録画機能を遠隔で制御することができます。マニュアル録画開始鈕  をクリックするとDVRが録画を開始します。マニュアル録画開始鈕をもう一度クリックすると録画が停止します。

⑥IE録画

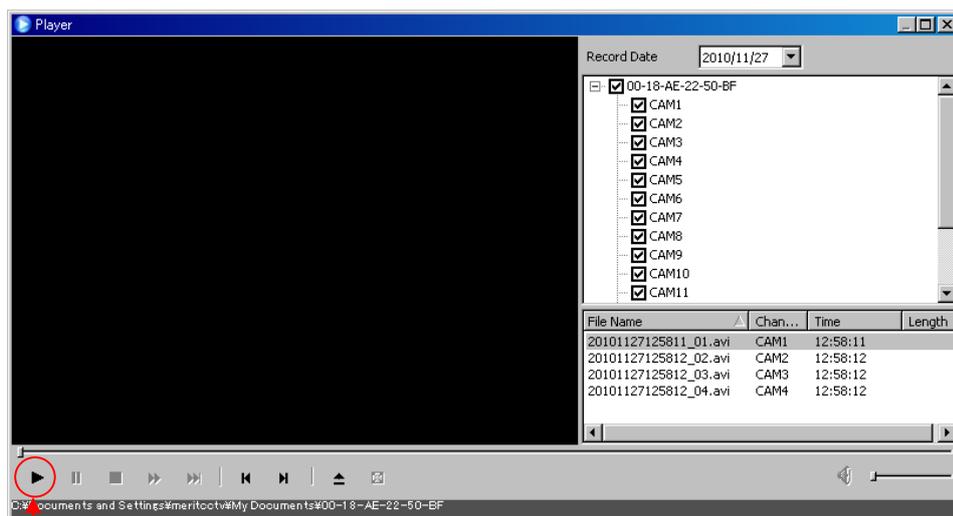
遠隔監視している映像をPCに録画することができます。IE録画開始鈕  をクリックするとPCが録画を開始します。IE録画開始鈕をもう一度クリックすると録画が停止します。録画された映像データはAVIファイルとしてマイドキュメントの中のDVRのMACアドレスが名前になったフォルダに保存されます。保存された映像データは⑧再生により再生することができます。

⑦双方向通話

DVRと遠隔監視をしているPCの双方にマイクとスピーカが接続されていると、双方向の音声通話をすることができます。双方向通話鈕  をクリックするとその機能が開始し、もう一度クリックすると停止します。

⑧再生

⑥のIE録画によりPCに保存された映像データを再生します。再生鈕  をクリックすると図83.のPC再生画面が表示されます。



再生鈕

図 83. PC 再生画面

Record Date(録画日)の右にあるプルダウンメニューの  鈕をクリックすると、PCに保存された録画データの日付が表示されます。再生する録画データの日付を選択してください。下欄には選択した日付の録画データのリストが表示されます。リストの中から再生するデータを選択し、画面左下の再生鈕  をクリックしてください。選択されたデータがフル画面で再生されます。

再生時の操作は図84.の通りです。

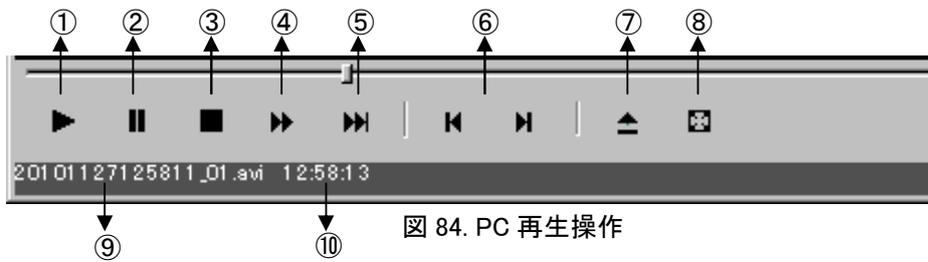


図 84. PC 再生操作

①	再生	再生を開始します。
②	一時停止	再生を一時停止します。
③	停止	再生を終了します。
④	早送り	早送り再生をします。
⑤	コマ送り	一時停止中に1コマずつ再生を進めます。
⑥	ファイル切換	再生するファイルを切り換えます。
⑦	パース表示	再生ファイルのパースを表示します。
⑧	フル画面表示	再生映像をモニタ画面一杯に広げて表示します。 右クリックで元の画面サイズに戻ります。
⑨	ファイル名	再生中のファイル名を表示しています。
⑩	再生時刻	再生中の時刻を表示しています。

⑨ステータス

・ストリーム表示・・・各チャンネルのストリームがマスタストリームかサブストリームかを表示します。マスタストリーム/サブストリームの切り換えは、切り換える映像の上で右クリックし、表示された図85.の画面操作メニューで行います。マスタストリームに設定すると動画像が滑らかになり、画質も向上しますが、回線、PCへの負担が大きくなります。

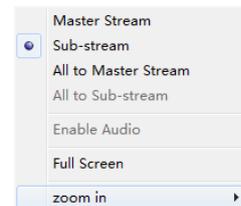


図 85. 画面操作メニュー

・ローカル録画表示・・・PCが録画しているとチャンネル番号が青く表示されます。

⑩カラー調整

Color(カラー) 鈕をクリックすると図80.のライブ映像画面の右側が図86.のカラー調整画面に変わります。

カラー調整を行うチャンネルをライブ映像画面上でクリックし選択してください。図86.の各ツマミをマウスドラッグでスライドさせ、カラー調整をしてください。

保存鈕をクリックすると変更内容がPCに保存されます。

デフォルト鈕をクリックすると、設定内容が初期値に戻ります。

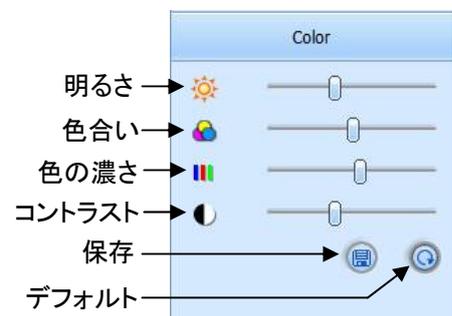


図 86. カラー調整画面

①PTZ制御

DVRにPTZカメラが接続されていると、PTZを遠隔で制御することができます。PTZ鈕をクリックすると図80.のライブ映像画面の右側が図87.のPTZ制御画面に変わります。PTZ制御するチャンネルをライブ映像画面上でクリックし選択してください。図87.の各コントロールでPTZの制御を行ってください。

プリセット鈕の左にあるプルダウンメニューからプリセット番号を選択しプリセット鈕をクリックするとPTZは登録されたプリセット位置に移動します。

またクルーズ鈕の左にあるプルダウンメニューからクルーズ番号を選択しクルーズ鈕をクリックするとPTZは登録されたクルーズを開始し、その右にある停止鈕をクリックすると、クルーズが停止します。

(注)プリセット、クルーズ、トラック、オートスキャンの操作を行うためには、予めPTZ、DVRに設定しておく必要があります。

その他の画面操作

- ・図85.のFull Screen(フルスクリーン)をクリックすると、映像がモニタ画面一杯に広がります。モニタ画面一杯に広がった映像の上で右クリックすると、画面は元の大きさに戻ります。
- ・フル画面(1画面)表示時に図85.のzoom in(ズームイン)にカーソルを合わせ、表示された4Xをクリックすると、映像が4倍に電子ズームされます。電子ズームされた映像はマウスドラッグにより表示位置を移動することができます。図85.のzoom in(ズームイン)にカーソルを合わせ、表示された1Xをクリックすると元の大きさに戻ります。

8-3. 遠隔検索再生

図80.のライブ映像画面上部のSEARCH(検索)タブをクリックすると図88.の遠隔再生のための時間検索画面が表示されます。この画面からDVRに保存された録画データを検索し再生します。

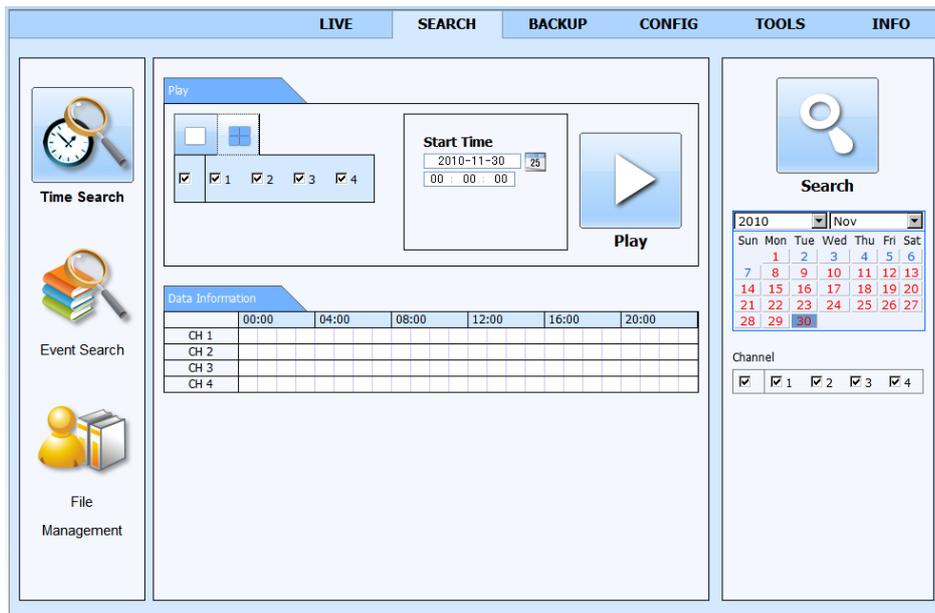


図 88. 時間検索画面

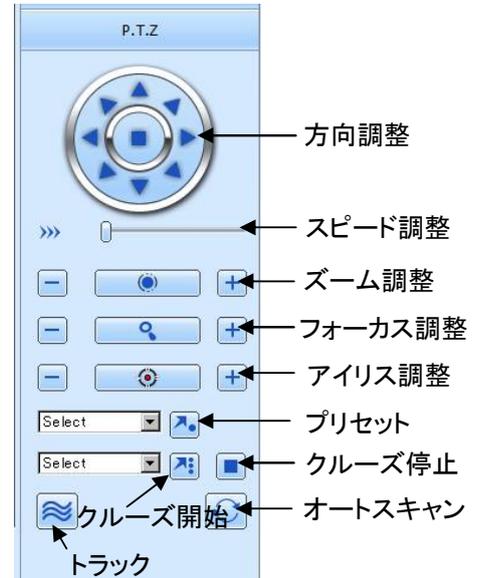


図 87. PTZ 制御画面

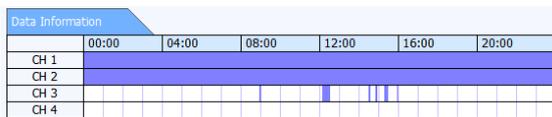
8-3-1. 時間検索

左欄のTime Search(時間検索)が選択されていることを確認してください。

右欄にはカレンダーが表示されています。録画データのある日付は赤くなっています。

時間検索をする日付を選択し、カレンダーの上にあるSearch(検索)鈕  をクリックしてください。画面中央のData Information(データ情報)に、選択した日付の録画データのある時間帯がチャンネル毎に紫色の帯で表示されます。

Start Time(開始時刻)の欄に、再生を開始する時刻を設定してください。



Data Information		00:00	04:00	08:00	12:00	16:00	20:00
CH 1		[Recording]					
CH 2		[Recording]					
CH 3		[Recording]					
CH 4		[Recording]					

図 89. データ情報

再生させる映像の画面モードを選択することができます。フル画面モードを選択した場合は、再生させるチャンネルを選択してください。4分割画面モードであっても、再生させたくないチャンネルがある場合は、チャンネル番号の✓マークを外すと、そのチャンネルは再生されません。

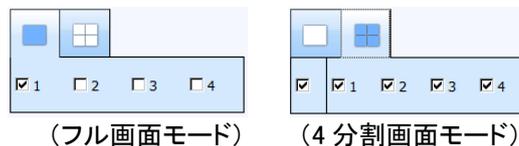


図 90. 画面モード選択

設定が終了したらPlay(再生)鈕  をクリックしてください。再生が開始されます。

再生時の画面操作は8-3-5.再生操作を参照ください。

8-3-2. イベント検索

図88.の左欄にあるEvent Search(イベント検索)鈕  をクリックすると、図91のイベント検索画面が表示されます。

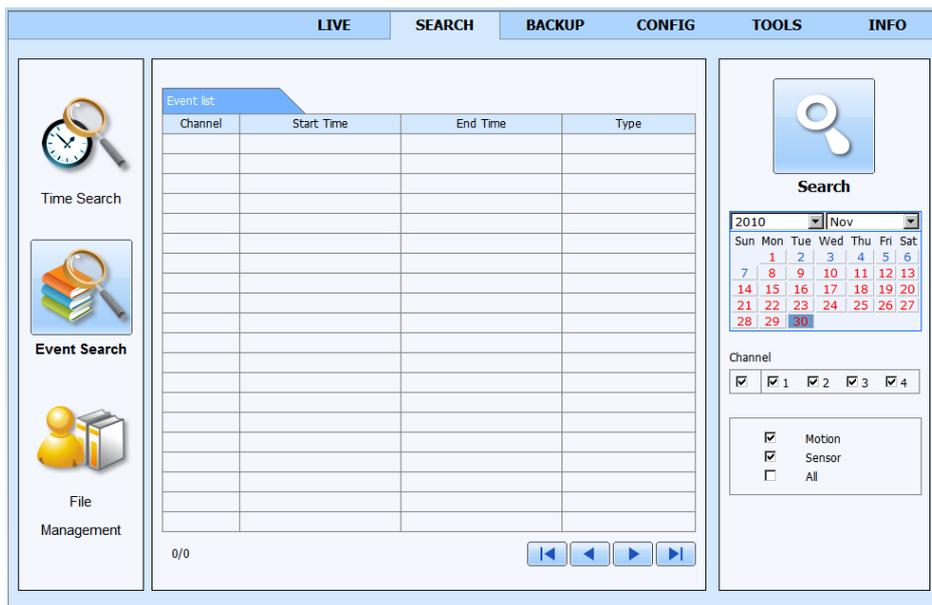


図 91. イベント検索画面

右欄のカレンダーでイベント検索をする日付を選択し、Search(検索)鈕  をクリックしてください。画面中央のEvent List(イベントリスト)に、選択した日付に発生したイベントが表示されます。Search(検索)鈕  をクリックする前に、Channel(チャンネル)欄のチャンネル番号、またはMotion(モーション)、Sensor(センサー)の✓マークを外すことにより、検索するイベントを絞り込むことができます。

Event List(イベントリスト)に表示されたイベントをクリックすると、そのイベントが発生した時刻から、そのイベントのチャンネルがフル画面で再生されます。

リストが複数ページになる場合は  鈕でページを移動することができます。

再生時の画面操作は8-3-5.再生操作を参照ください。

8-3-4. ファイル検索

図88.の左欄にあるFile Management(ファイル管理)鈕をクリックすると、図92.のファイル検索画面が表示されます。

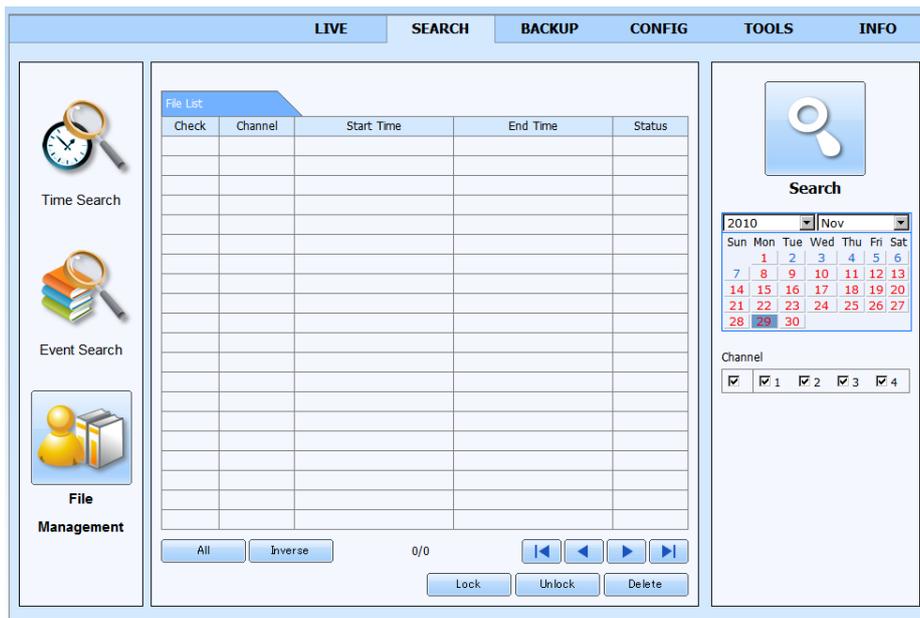


図 92. ファイル検索画面

右欄のカレンダーでファイル検索をする日付を選択し、Search(検索)鈕をクリックしてください。画面中央のFile List(ファイルリスト)に、選択した日付の録画データファイルが表示されます。Search(検索)鈕をクリックする前に、Channel(チャンネル)欄のチャンネル番号の✓マークを外すことにより、検索するイベントを絞り込むことができます。File List(ファイルリスト)に表示された録画データファイルをクリックすると、そのデータの最初の時刻から、そのデータのチャンネルがフル画面で再生されます。

リストが複数ページになる場合は  鈕でページを移動することができます。

再生時の画面操作は8-3-5.再生操作を参照ください。

8-3-5. 再生操作

時間検索、イベント検索、ファイル検索により再生を開始すると、図93.の遠隔再生画面が表示されます。



図 93. 遠隔再生画面

再生時の操作は図94.の通りです。

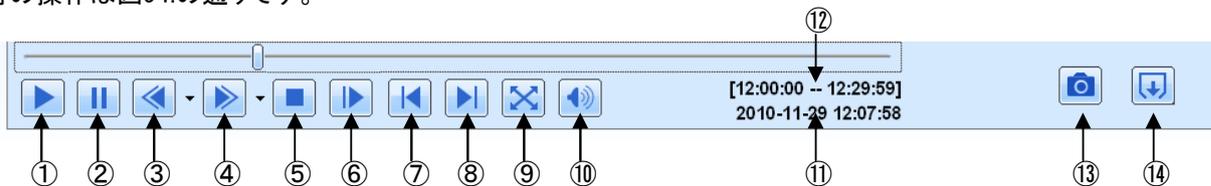


図 94. 遠隔再生操作

①	再生	停止、一時停止した再生を再開します。
②	一時停止	再生を一時停止します。再生釦をクリックすると、停止したところから再生が開始されます。
③	逆戻し	逆戻し再生をします。クリックする度に再生スピードが8倍、16倍と変わります。釦の右にある ▼ をクリックし、表示されたプルダウンメニューから直接スピードを選択することもできます。
④	早送り・スロー	早送り再生をします。クリックする度に再生スピードが2、4、8、16倍と変わります。釦の右にある ▼ をクリックし、表示されたプルダウンメニューから1/4、1/2倍のスロー再生を含め、直接スピードを選択することもできます。
⑤	停止	再生を停止します。再生釦をクリックすると、最初から再生が開始されます。
⑥	コマ送り	一時停止した状態でクリックすると、再生が1コマずつ進みます。
⑦	前のセクションへ	再生が1つ前のセクション(注)に戻ります。
⑧	次のセクションへ	再生が次のセクション(注)に進みます。
⑨	画面拡大	再生映像をモニタ画面一杯に広げて表示します。右クリックで元の画面サイズに戻ります。
⑩	音量調整	図82.の音量調整用のボリュームがポップアップされます。スライドを上下させることにより音量を調整することができます。
⑪	日付時刻表示	再生中の映像の日付時刻を表示しています。
⑫	セクション表示	再生中の映像が含まれるセクション(注)の時間範囲を表示しています。
⑬	スナップショット	クリックした瞬間の再生映像が、静止画のビットマップファイルとして、PCのマイドキュメントに保存されます。静止画の解像度は352 x 240ドットになります。
⑭	終了	再生を終了し、元の検索画面に戻ります。

(注)録画データは30分を1つのブロック(セクション)として管理されていて、セクション毎にロードされ再生されます。

図93.の遠隔再生画面で直接日付時刻を指定して、再生させることもできます。

画面右側のStart Time(開始時刻)欄に再生させる日付時刻を設定し  をクリックしてください。再生が開始されます。

また再生させる映像の画面モードを選択することができます。操作方法は(1)時間検索の項を参照ください。

再生操作が終了したら⑭の終了釦  をクリックしてください。元の検索画面に戻ります。

8-4. 遠隔バックアップ

DVRIに保存された録画データをPCにダウンロードしバックアップデータとしてPCに保存することができます。

画面上部のBACKUP(バックアップ)タブをクリックしてください。図95.の遠隔バックアップ画面が表示されます。

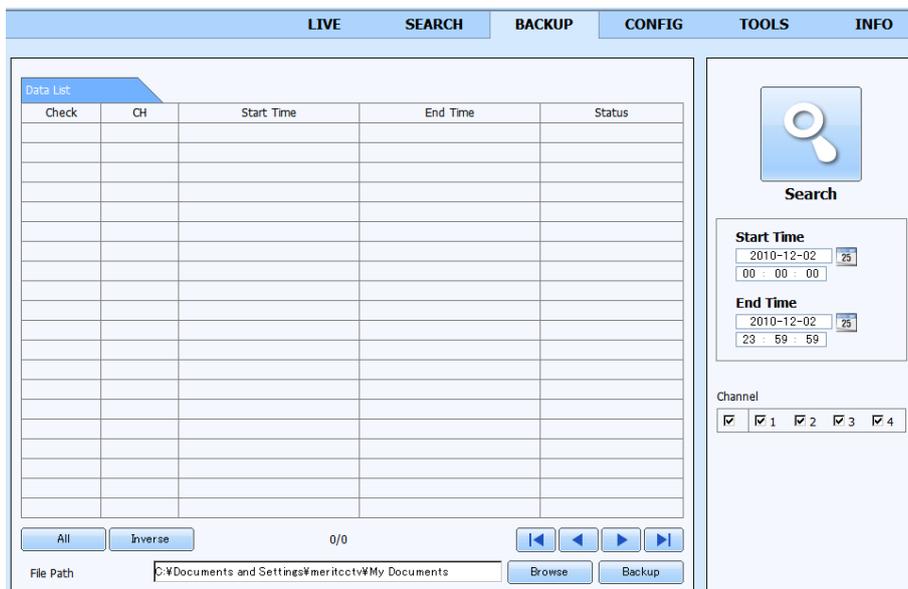


図 95. 遠隔バックアップ画面

画面右側のStart Time(開始時刻)に、バックアップする録画データの開始日付時刻を、またEnd Time(終了時刻)にバックアップする録画データの終了日付時刻を設定してください。この時バックアップするデータのチャンネルを限定することができます。Channel(チャンネル)欄で、バックアップする必要のないチャンネル番号の✓マークを外してください。

設定が終了したらSearch(検索)鈕  をクリックしてください。設定した録画データを含むファイルがData List(データリスト)の欄に表示されます。表示された各ファイルには、そのデータのチャンネル番号、Start Time(開始時刻)、End Time(終了時刻)が記されています。データファイルの開始終了時刻の範囲が、バックアップするよう設定した開始終了時刻の範囲より広くても、バックアップされるデータは設定した開始終了時刻になります。本当にバックアップする必要のあるファイルのCheck(チェック)欄に✓マークをいれてください。All(全部)鈕をクリックするとすべてのファイルに✓マークが入ります。またInverse(反対)鈕をクリックすると✓マークを入れた所と入れなかった所とが逆転します。

リストが複数ページになる場合は  鈕でページを移動することができます。

必要なファイルに✓マークをいれたら、次にバックアップデータを保存するPCの中の場所を指定します。画面中央下部のBrowse(ブラウズ)鈕をクリックすると、”ファイルの参照”ウィンドウがポップアップされますので、バックアップデータを保存する場所を指定してください。指定した保存場所が左の欄に表示されます。

次にBackup(バックアップ)鈕をクリックしてください。図96.のWEBCLIP1の“Codec component is required for other media player. Do you want to download the codec setup file?”(他のメディアプレイヤーを使用するためにはコーデックコンポーネントが必要です。コーデック設定ファイルをダウンロードしますか。)というメッセージがポップアップされます。

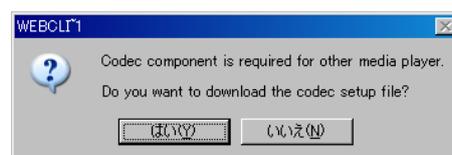


図 96. WEBCLIP1

DVRIにはH.264で圧縮された録画データが保存されていて、一方PCにバックアップされるデータはAVIファイルになります。AVIファイルを作成する上で、圧縮されたH.264のデータを一旦解凍するためには、H.264用のコーデックコンポーネントが必要です。PCにH.264用のコーデックコンポーネントがインストールされていない場合は図96.で「はい」を選択してください。図97.の“ファイルのダウンロード”ウィンドウがポップアップされますので「実行」を選択してください。録画データがDVRからPCにダウンロードされ始め、その経過はData List(データリスト)のStatus(ステータス)の欄にパーセンテージと紫色のバーで表示されます。データのダウンロードが終了すると、Status(ステータス)の欄にはFinished(終了)と表示されます。PCに保存されたAVI形式のバックアップファイルはWindows Media Playerなどで再生できます。

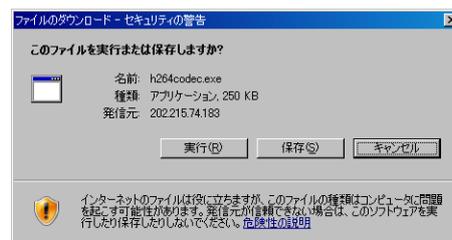


図 97. ファイルのダウンロード

録画データがDVRからPCにダウンロードされ始め、その経過はData List(データリスト)のStatus(ステータス)の欄にパーセンテージと紫色のバーで表示されます。データのダウンロードが終了すると、Status(ステータス)の欄にはFinished(終了)と表示されます。PCに保存されたAVI形式のバックアップファイルはWindows Media Playerなどで再生できます。

8-5. 遠隔設定

DVRの各種設定の確認、変更をLANまたはインターネットを介し、遠隔から行うことができます。設定項目は以下の通りです。

ローカル設定

遠隔監視を行うPCのデータ保存に関する設定を行ないます。

基本設定/ライブ設定/録画設定/スケジュール設定/アラーム設定/ネットワーク設定/PTZ設定/ユーザ管理設定

遠隔のDVRの設定を行います。設定内容の詳細は **5.設定ガイド** を参照ください。

8-5-1. ローカル設定

画面上部のCONFIG(構成)タブをクリックしてください。図98.のローカル設定画面が表示されます。

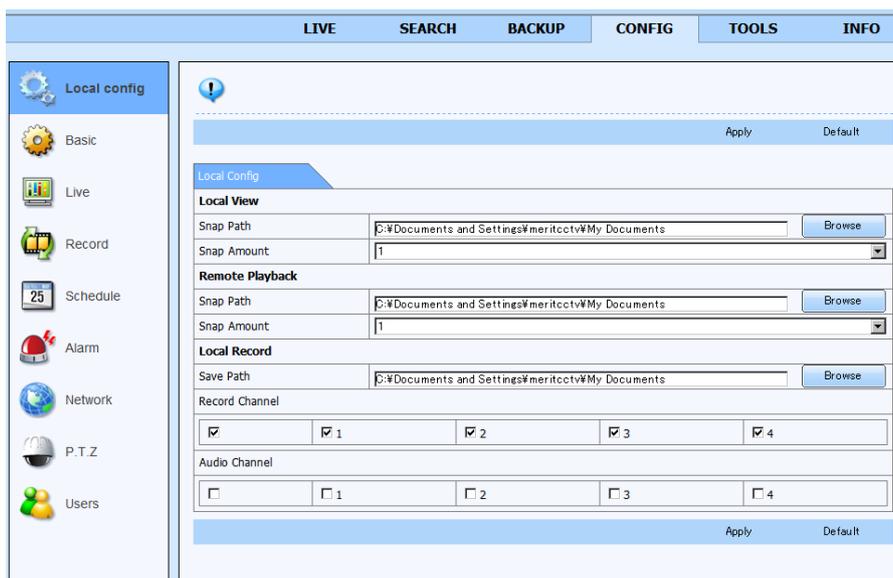


図 98. ローカル設定画面

この画面では、現在DVRに接続中のPCのデータ保存に関して設定を行います。

(1)Local View(ローカル監視)

ライブ映像を監視中にスナップショット釦をクリックした際の静止画を保存するPC上の場所(Snap Path)と、一度のクリックで保存する静止画の枚数(Snap Amount)を設定します。

(2)Remote Playback(遠隔再生)

遠隔再生をしている時にスナップショット釦をクリックした際の静止画を保存するPC上の場所(Snap Path)と、一度のクリックで保存する静止画の枚数(Snap Amount)を設定します。

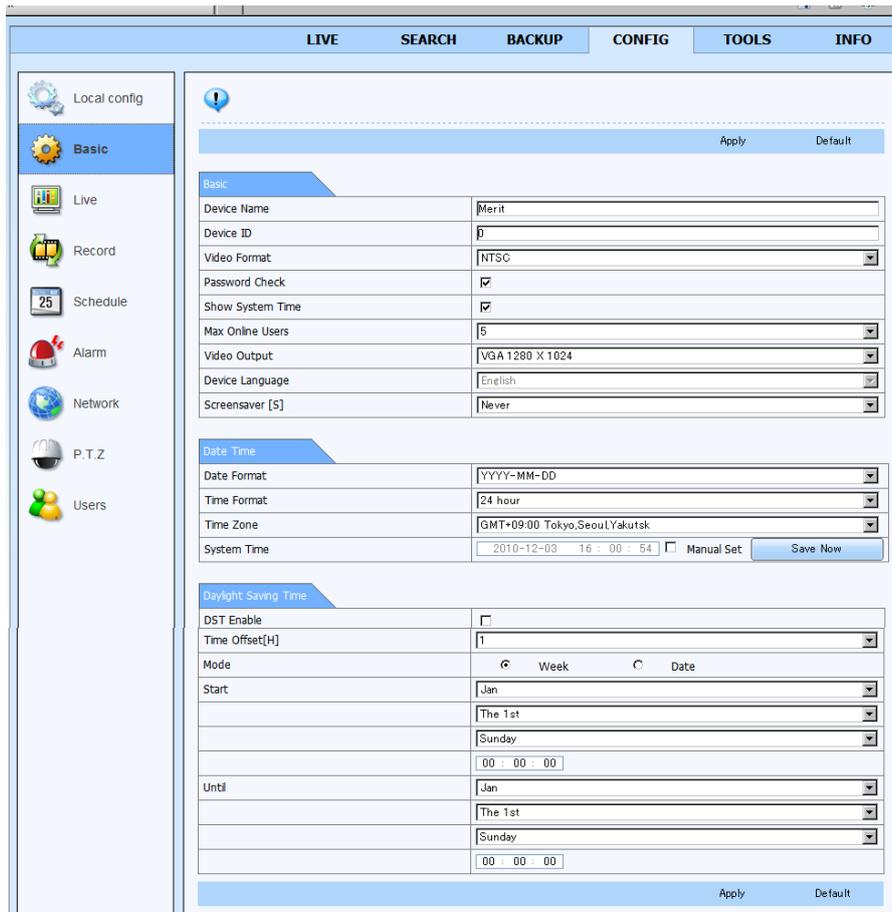
(3)Local Record(遠隔録画)

PCにライブ映像を録画する際の録画データを保存するPC上の場所(Save Path)と、録画する映像のチャンネル(Record Channel)と録音する音声のチャンネル(Audio Channel)を設定します。

設定変更を行った場合はApply(適用)釦をクリックしてください。変更内容がPCに保存されます。Default(デフォルト)釦をクリックすると、設定内容が初期状態に戻ります。

8-5-2. 基本設定

画面左側の  Basic (基本設定) を選択すると、図99の基本設定画面が表示されます。



Basic	
Device Name	Merit
Device ID	0
Video Format	NTSC
Password Check	<input checked="" type="checkbox"/>
Show System Time	<input checked="" type="checkbox"/>
Max Online Users	5
Video Output	VGA 1280 X 1024
Device Language	English
Screensaver [S]	Never

Date Time	
Date Format	YYYY-MM-DD
Time Format	24 hour
Time Zone	GMT+09:00 Tokyo, Seoul, Yakutsk
System Time	2010-12-03 16:00:54 <input type="checkbox"/> Manual Set <input type="button" value="Save Now"/>

Daylight Saving Time	
DST Enable	<input type="checkbox"/>
Time Offset [H]	1
Mode	<input checked="" type="radio"/> Week <input type="radio"/> Date
Start	Jan
	The 1st
	Sunday
	00:00:00
Until	Jan
	The 1st
	Sunday
	00:00:00

図 99. 基本設定画面

設定内容の詳細は 5-1.基本設定 を参照ください。

(1) Basic(基本設定)

Device Name (DVRの名称)、Device ID (DVRのID)、Video Format (映像方式)、Password Check (パスワードチェック)、Show System Time (時刻表示)、Max Online Users (最大同時アクセス数)、Device Language (使用言語)、Screen Saver [S] (スクリーンセーバ[秒]) に関して設定を行います。

Screen Saver [S] (スクリーンセーバ[秒]) はPCで何も操作をしない時、スクリーンセーバが起動するまでの時間を設定します。選択肢は 30秒、60秒、3 x 60秒 (3分)、5 x 60秒 (5分)、Never (スクリーンセーバは使用しない) のいずれかです。

(2) Date Time(日付時刻設定)

Date Format (日付表示形式)、Time Format (時刻表示形式)、Time Zone (タイムゾーン)、System Time (システム時刻) に関して設定を行います。

System Time (システム時刻) 設定をするにはManual Set (マニュアル設定) に マークを入れ、左の欄に日付時刻を入力し、入力した時刻になったと同時にSave Now (今、保存) 鈕をクリックしてください。DVRが録画中に時刻を戻す設定をすると、同時刻の録画データが存在することになり、システムエラーが発生しますので、時刻の修正には充分ご注意ください。

(3) Daylight Saving Time(夏時間設定)

日本では夏時間制度が採用されていないので、設定の必要はありませんが、最初の項目DST Enable (夏時間を有効にする) に マークが入っていない (無効になっている) ことを確認してください。

すべての設定・変更が終了したらApply (適用) 鈕をクリックしてください。設定・変更内容がPCに保存されます。Default (デフォルト) 鈕をクリックすると、設定内容が初期状態に戻ります。

8-5-3. ライブ設定

画面左側の  Live (ライブ設定) を選択すると、図100.のライブ設定画面が表示されます。

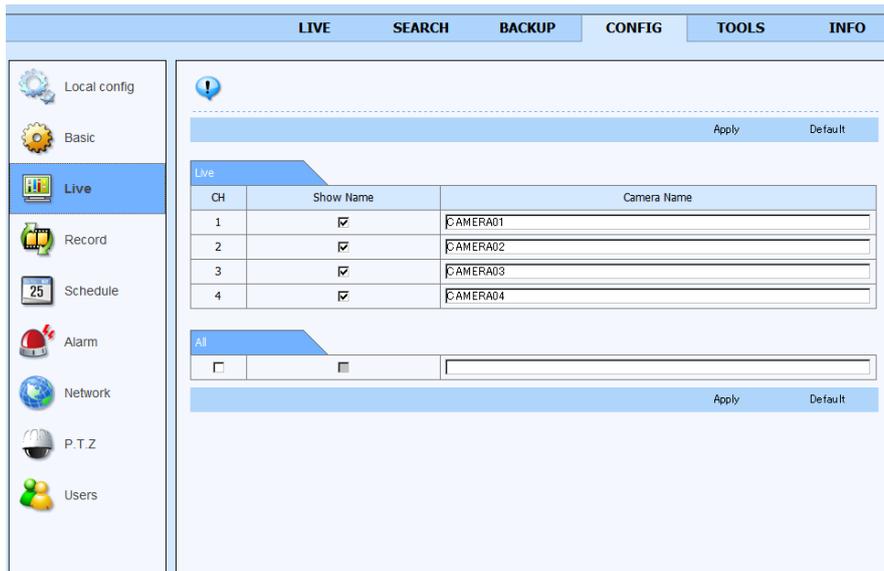


図 100. ライブ設定画面

ここではShow Name(カメラ名の表示・非表示)、Camera Name(カメラの名称)をチャンネル毎に設定します。

すべての設定・変更が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定・変更内容がPCに保存されます。Default(デフォルト)鈕をクリックすると、設定内容が初期状態に戻ります。

8-5-4. 録画設定

画面左側の  Record (録画設定) を選択すると、図101.の録画設定画面のMaster Stream(マスタストリーム)設定画面が表示されます。

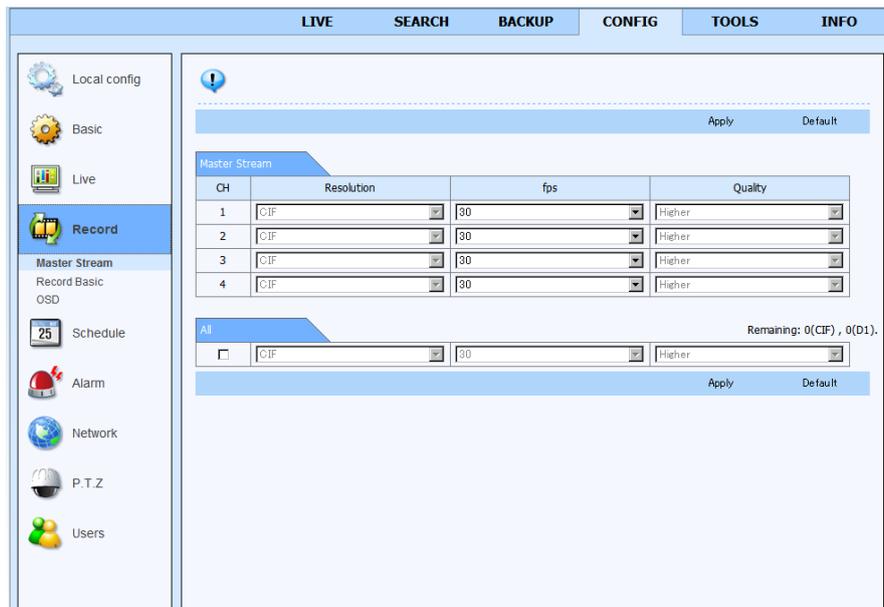


図 101. 録画設定画面(マスタストリーム)

ここではResolution(解像度)、fps(フレームレート)、Quality(画質)をチャンネル毎に設定します。

すべての設定・変更が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定・変更内容がPCに保存されます。Default(デフォルト)鈕をクリックすると、設定内容が初期状態に戻ります。

Record (録画設定) の下にあるRecord Basic (録画基本) 設定を選択すると、図102.の録画基本設定画面が表示されます。

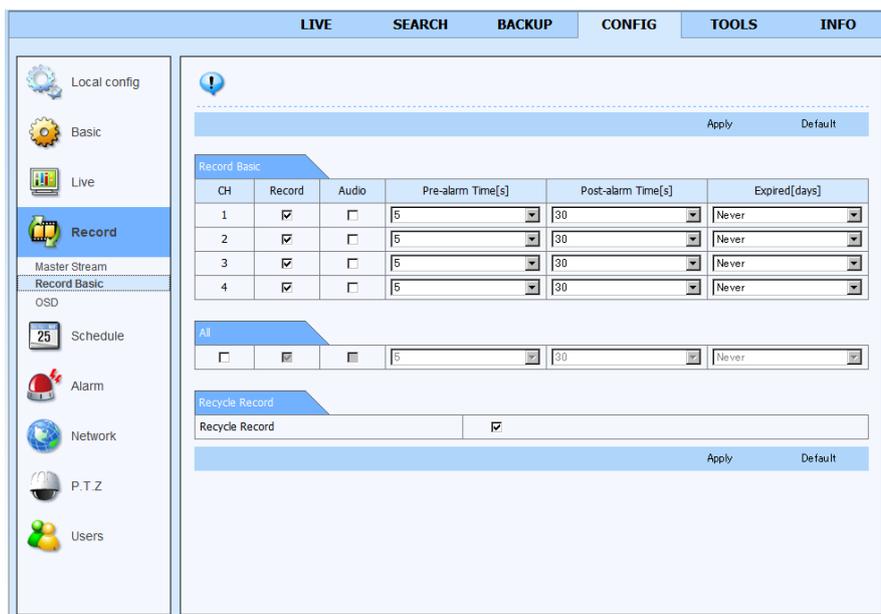


図 102. 録画設定画面(基本)

ここではRecord(録画)、Audio(録音)をするかしないか、Pre-alarm Time[S](プリアラーム録画時間[秒])、Post-alarm Time[S](ポストアラーム録画時間[秒])、Expired[Days](録画データ保存期間[日])をチャンネル毎に設定します。また、ハードディスクにRecycle Record(上書き録画)を行うかを設定します。

すべての設定・変更が終了したらApply(適用) 鈕をクリックしてください。設定・変更内容がPCに保存されます。Default(デフォルト) 鈕をクリックすると、設定内容が初期状態に戻ります。

Record (録画設定) の下にあるOSD(画面表示) 設定を選択すると、図103.の録画画面表示設定画面が表示されます。

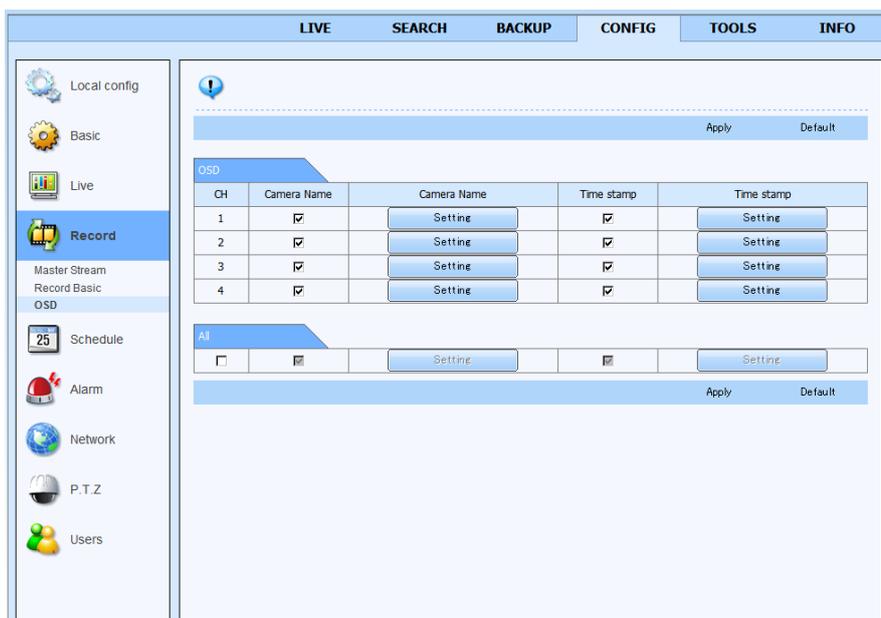


図 103. 録画設定画面(画面表示)

ここでは録画データにCamera Name(カメラ名)とTime stamp(日付時刻)を入れるか否かを✓マークで、また画面のどの場所に入れるかをSetting(設定)でチャンネル毎に設定します。

すべての設定・変更が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定・変更内容がPCに保存されます。Default(デフォルト)鈕をクリックすると、設定内容が初期状態に戻ります。

8-5-5. スケジュール設定

画面左側の  Schedule (スケジュール設定) を選択すると、図104.のスケジュール設定画面の通常録画スケジュール設定画面が表示されます。

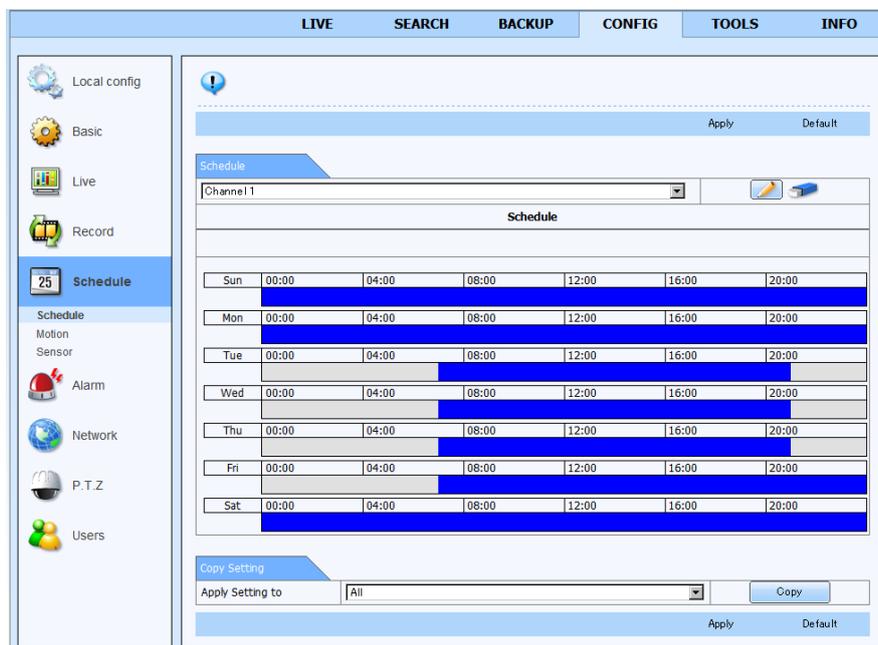


図 104. スケジュール設定画面(通常録画スケジュール)

ここでは通常録画をするスケジュールをチャンネル毎、曜日毎に設定します。

設定するチャンネルを選択後、 アイコンをクリックし、録画させたい曜日の録画開始時間から終了時間までドラッグします。録画するよう設定された時間帯が青い帯で表示されます。

既に設定された録画時間帯を削除する場合は、 アイコンをクリックし、削除したい時間帯の最初の時刻から最後の時刻までドラッグしてください。表示されていた青い帯が消去されます。

設定できる録画開始・終了時刻また削除開始・終了時刻は毎時00分、15分、30分、45分です。

すべての設定・変更が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定・変更内容がPCに保存されます。Default(デフォルト)鈕をクリックすると、設定内容が初期状態に戻ります。

 Schedule (スケジュール設定) の下にあるMotion(モーション)を選択するとモーション録画のスケジュールが、また Sensor(センサー)を選択するとセンサー録画のスケジュールが設定できます。

設定方法は通常録画スケジュールと同様です。

8-5-6. アラーム設定

画面左側の  Alarm (アラーム設定) を選択すると、図105.のアラーム設定画面のモーション設定画面が表示されます。

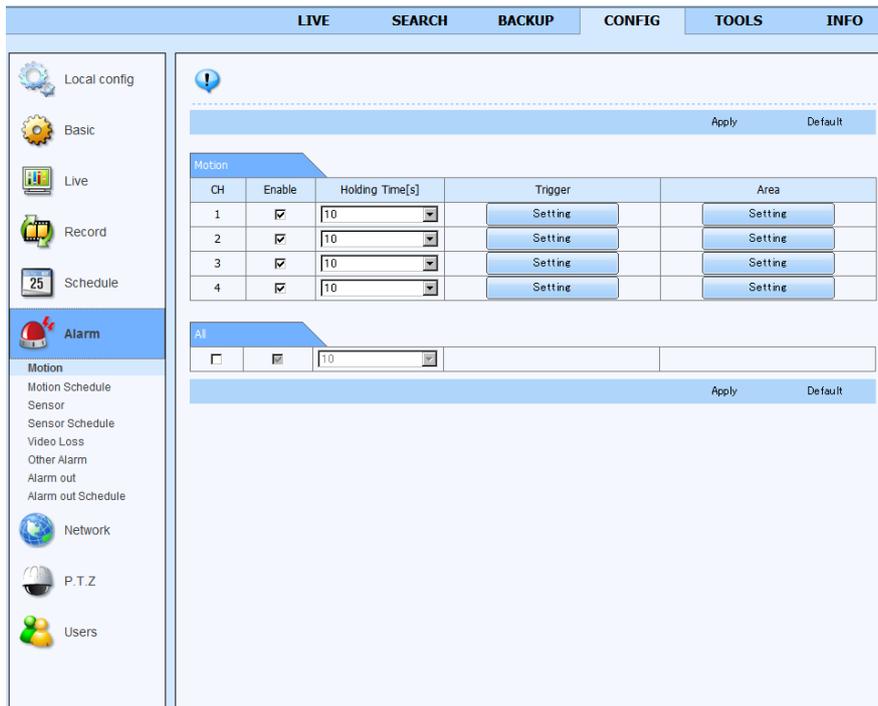


図 105. アラーム設定画面(モーション設定)

ここではモーション(動き検知)に関し、チャンネル毎に設定します。

Enable(有効)に✓マークを入れるとモーション機能が有効になります。またHolding Time[S](保持時間[秒])ではアラーム状態の保持時間を選択します。

Trigger(トリガー)欄のSetting(設定)鈕をクリックすると、図105.の下部に、モーションを検知した際の対応設定画面が表示されます。

この画面でBuzzer(ブザー)を鳴らすか否かを選択、フル画面表示させるチャンネルの選択、Eメール通知を行うか否かの選択、アラーム出力を動作させるか否かの選択、連動して録画するチャンネルの選択をします。

また、PTZカメラを使用している場合は、PTZカメラの動作を選択します。

Area(範囲)欄のSetting(設定)をクリックすると図107.のモーション検知範囲設定画面が表示されます。

緑色の升目が検知範囲です。初期状態では画面のすべてが検知範囲になっています。

Channel(チャンネル)欄で設定するカメラを選択してください。

Sensitivity(感度)のスライドボリュームで感度を調整してください。右の位置になる程、感度が高くなります。

検知範囲を追加する場合はAdd(追加)、削除する場合はDelete(削除)を選択してください。

キーボードのCtrl(コントロール)キーを押しながら追加または削除する部分をドラッグしてください。

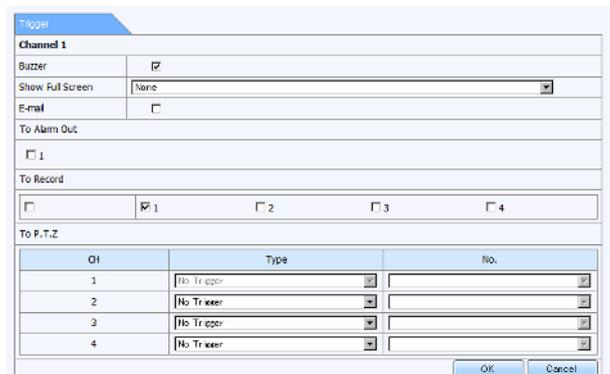


図 106. モーション対応設定

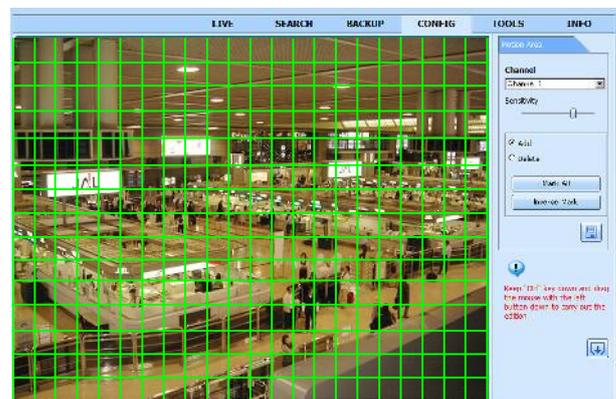


図 107. モーション検知範囲設定

追加された部分には緑色の升目が表示され、削除された部分は緑の升目が消えます。Mark All(すべてをマーク) 鈕をクリックすると画面のすべてに升目が表示され、画面のすべてが検知範囲になります。Reverse Mark(マークを逆転) 鈕をクリックすると、検知範囲とそうでない部分とが逆転します。

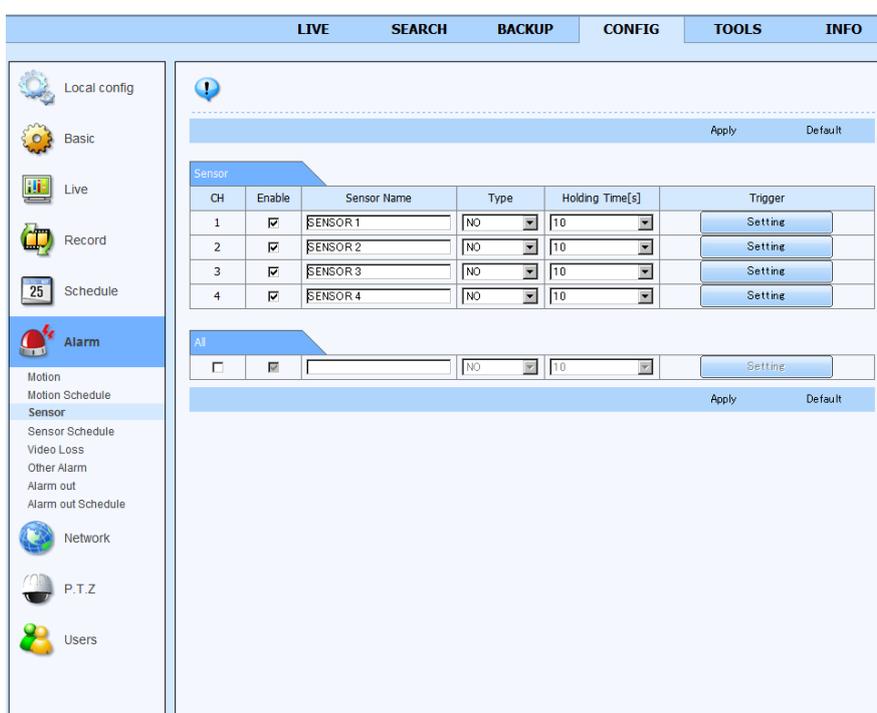
設定内容を保存するには  鈕をクリックしてください。

 鈕をクリックすると図105のアラーム設定画面に戻ります。

すべての設定・変更が終了したらApply(適用) 鈕をクリックしてください。設定・変更内容がPCに保存されます。Default(デフォルト) 鈕をクリックすると、設定内容が初期状態に戻ります。

 Alarm (アラーム設定) の下にあるMotion Schedule(モーションスケジュール) を選択すると、モーション検知機能を動作させるためのスケジュール設定画面が表示されます。設定方法は8-5-5.スケジュール設定と同様です。

 Alarm (アラーム設定) の下にあるSensor(センサー) を選択すると、図108のセンサー設定画面が表示されます。



CH	Enable	Sensor Name	Type	Holding Time[s]	Trigger
1	<input checked="" type="checkbox"/>	SENSOR 1	NO	10	Setting
2	<input checked="" type="checkbox"/>	SENSOR 2	NO	10	Setting
3	<input checked="" type="checkbox"/>	SENSOR 3	NO	10	Setting
4	<input checked="" type="checkbox"/>	SENSOR 4	NO	10	Setting

図 108. センサー設定画面

ここではDVRに接続されたセンサーに関し、チャンネル毎に設定をします。

Enable(有効)に✓マークを入れるとモーション機能が有効になります。またSensor Name(センサー名) 欄で各センサーに名前を設定することができます。Type(タイプ) 欄ではセンサーの種類(NOまたはNC)を選択します。

Holding Time[S](保持時間[秒])ではアラーム状態の保持時間を選択します。

Trigger(トリガー) 欄のSetting(設定) 鈕をクリックすると、センサーが働いた際の対応を設定する画面が表示されます。設定方法はモーション対応設定と同様です。

すべての設定・変更が終了したらApply(適用) 鈕をクリックしてください。設定・変更内容がPCに保存されます。Default(デフォルト) 鈕をクリックすると、設定内容が初期状態に戻ります。

 Alarm (アラーム設定) の下にあるSensor Schedule(センサースケジュール) を選択すると、センサー機能を動作させるためのスケジュール設定画面が表示されます。設定方法は8-5-5.スケジュール設定と同様です。

 Alarm (アラーム設定)の下にあるVideo Loss(ビデオロス)を選択すると、ビデオロス設定画面が表示されます。

ここではビデオロス(DVRへの映像入力欠落)が発生した際の対応についてチャンネル毎に設定をします。

Trigger(トリガー)欄のSetting(設定)鈕をクリックすると、対応を設定する画面が表示されます。設定方法はモーション対応設定と同様です。

 Alarm (アラーム設定)の下にあるOther Alarm(その他のアラーム)を選択すると、図109.のその他のアラーム設定画面が表示されます。

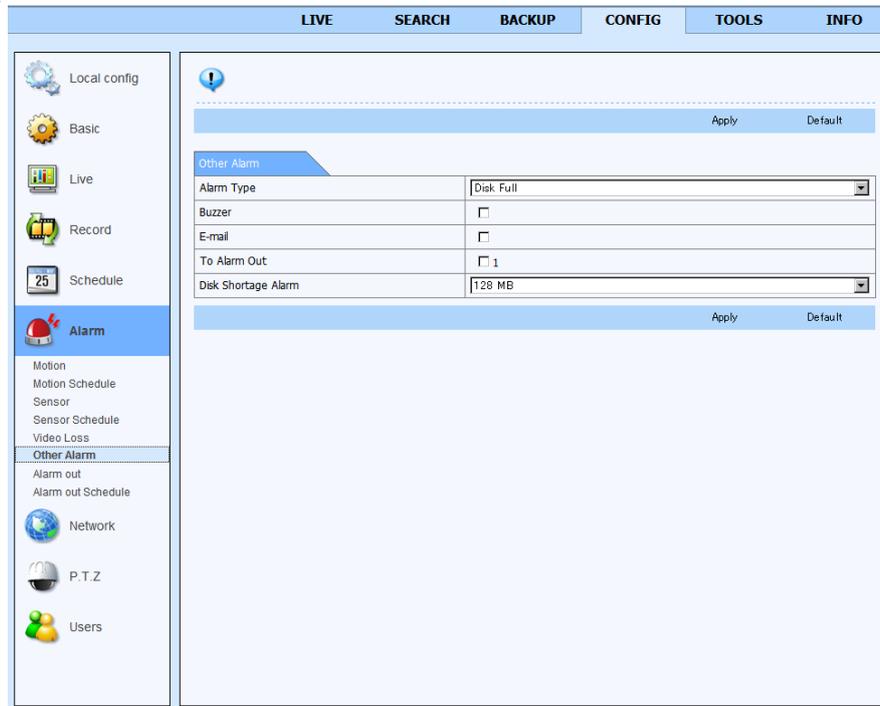


図 109. その他のアラーム設定画面

ここではモーション、センサー、ビデオロス以外のアラームに関して設定をします。

Alarm Type(アラームの種類)のプルダウンメニューの中から、設定するアラームを選択します。

Disk Full(ディスクフル)では録画データを保存する先として設定されたハードディスクの残り容量が少なくなった際に発生するアラームについて設定します。最末尾のDisk Shortage Alarm(ディスク不足アラーム)欄では、ディスクの残り容量がどれだけになったらアラームを発生させるかを設定します。

Disk Full(ディスクフル)を含め、IP Conflict(IPアドレスの衝突)、Net Disconnect(ネットワーク切断)のアラームが発生した場合の対応としてそれぞれのアラームに対して、Buzzer(ブザー)を鳴らすか否か、Eメールによる通知を行うか否か、アラーム出力を動作させるか否かを設定します。

すべての設定・変更が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定・変更内容がPCに保存されます。Default(デフォルト)鈕をクリックすると、設定内容が初期状態に戻ります。

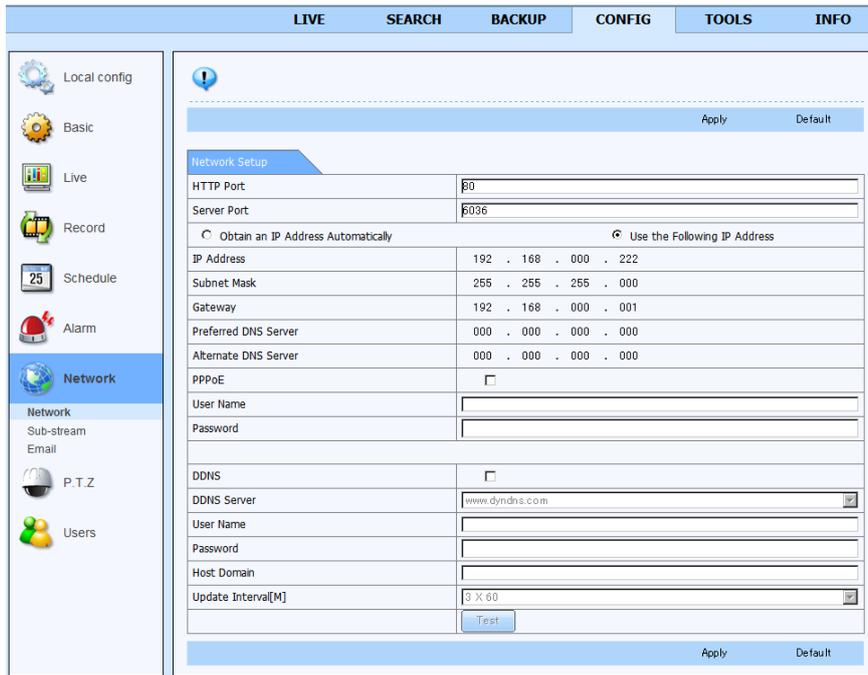
 Alarm (アラーム設定)の下にあるAlarm out(アラーム出力)を選択すると、アラーム出力設定画面が表示されます。

ここではRelay Name(出力リレーの名前)、リレーのHolding Time[S](保持時間[秒])の設定と、Buzzer(ブザー)を鳴らすか否か、鳴らす場合のHolding Time[S](保持時間[秒])の設定を行います。

 Alarm (アラーム設定)の下にあるAlarm out Schedule(アラーム出力スケジュール)を選択すると、アラーム出力を動作させるためのスケジュール設定画面が表示されます。設定方法は8-5-5.スケジュール設定と同様です。

8-5-7. ネットワーク設定

画面左側の  Network (ネットワーク設定) を選択すると、図110.のネットワーク設定画面が表示されます。



Network Setup	
HTTP Port	80
Server Port	6036
<input type="radio"/> Obtain an IP Address Automatically <input checked="" type="radio"/> Use the Following IP Address	
IP Address	192 . 168 . 000 . 222
Subnet Mask	255 . 255 . 255 . 000
Gateway	192 . 168 . 000 . 001
Preferred DNS Server	000 . 000 . 000 . 000
Alternate DNS Server	000 . 000 . 000 . 000
PPPoE	<input type="checkbox"/>
User Name	
Password	
DDNS	<input type="checkbox"/>
DDNS Server	www.dyndns.com
User Name	
Password	
Host Domain	
Update Interval[M]	3 X 60
	<input type="button" value="Test"/>

図 110. ネットワーク設定画面

ここではポート番号設定、接続方法、IPアドレスの設定などを行います。

HTTPポートは初期設定で80です。これを変更した場合は、インターネットブラウザでIPアドレスの最後にコロン(:)を付け、続けて変更したポート番号を入力する必要があります。Server Port(サーバポート/データポート)は初期値で6036です。

インターネットに接続する方法として、次の3種類の方法に対応しています。ネットワーク環境に応じて選択してください。

①固定IP : IP Address、Subnet Mask、Gateway、DNSを入力してください。

固定IPの代わりにDDNSを使用することもできます。その場合はDDNSに✓マークを入れ、DDNS Server (DDNSサーバ)、User Name(ユーザ名)、Password(パスワード)、Host Domain(ホストドメイン)、Update Interval[M](更新間隔[分])を設定してください。

②DHCP : Obtain an IP address automatically (IPアドレスを自動取得する)に✓マークを入れてください。

③PPPoE : インターネットプロバイダーからのUser Name(ユーザ名)とPassword(パスワード)を入力してください。

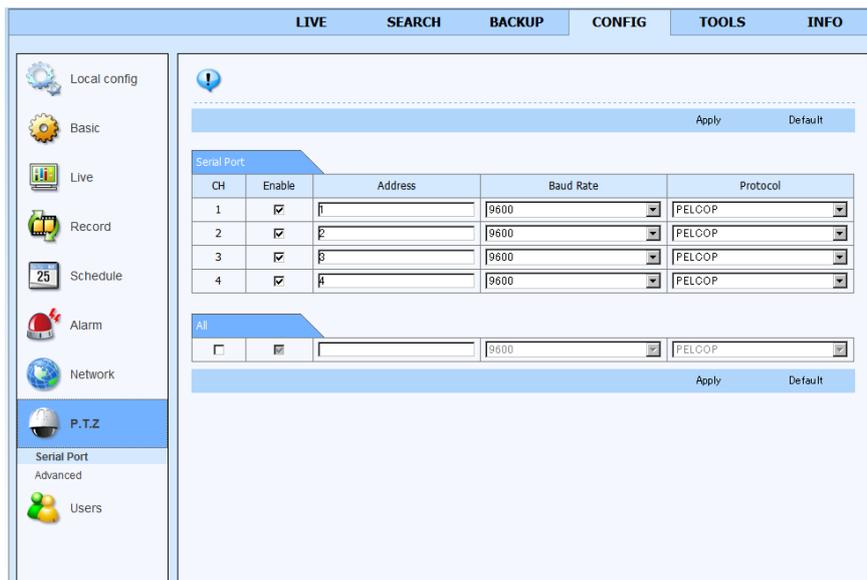
すべての設定・変更が終了したらApply(適用) 釦をクリックしてください。設定・変更内容がPCに保存されます。Default(デフォルト) 釦をクリックすると、設定内容が初期状態に戻ります。

 Network (ネットワーク設定) の下にあるSub-stream(サブストリーム)を選択するとネットワークストリーム設定画面が表示されます。ここではチャンネル毎に伝送する映像のResolution(解像度)、fps(フレームレート)、Quality(画質)を設定します。

 Network (ネットワーク設定) の下にあるEmail(Eメール)を選択するとEメール設定画面が表示されます。ここではアラームなどを通報する先のEメールに関して設定を行います。各項目の詳細はP22 5-6-3.Eメール設定を参照ください。

8-5-8. PTZ設定

画面左側の  (PTZ設定) を選択すると、図111.のPTZ設定画面のシリアルポート設定画面が表示されます。



CH	Enable	Address	Baud Rate	Protocol
1	<input checked="" type="checkbox"/>		9600	PELCO-P
2	<input checked="" type="checkbox"/>		9600	PELCO-P
3	<input checked="" type="checkbox"/>		9600	PELCO-P
4	<input checked="" type="checkbox"/>		9600	PELCO-P

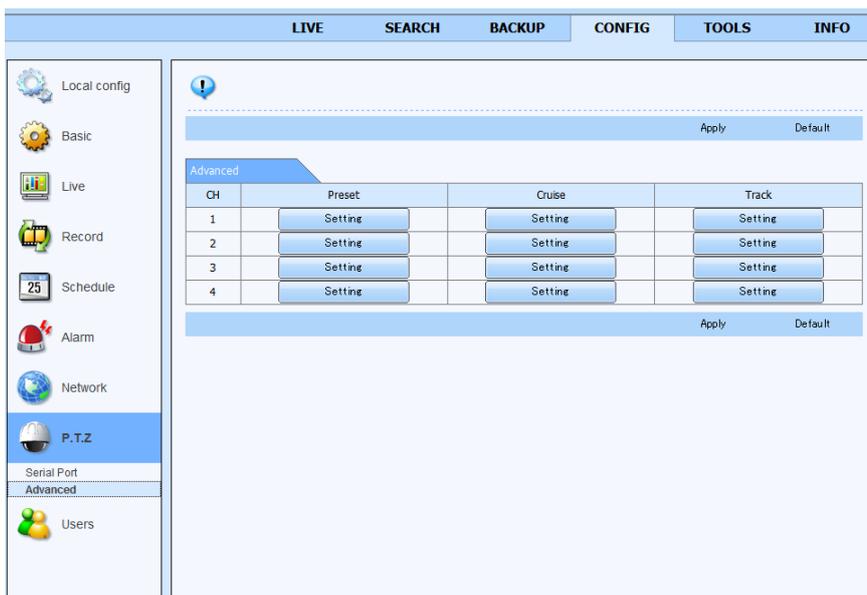
図 111. PTZ 設定画面(シリアルポート設定)

ここでは接続されたPTZカメラのアドレス、ボーレート、プロトコルをチャンネル毎に設定します。

Enable(有効)に✓マークを入れると、PTZ機能が有効になります。Address(アドレス)欄にはPTZに設定したアドレス番号を入力してください。Baud Rate(ボーレート)はプルダウンメニューに表示された110~921600(bps)の中から選択してください。またProtocol(プロトコル)はプルダウンメニューに表示されたプロトコル名から選択してください。プルダウンメニューの中にないプロトコルを持つPTZカメラは、本機では制御できません。

すべての設定・変更が終了したらApply(適用)鈕をクリックしてください。設定・変更内容がPCに保存されます。Default(デフォルト)鈕をクリックすると、設定内容が初期状態に戻ります。

 (PTZ設定) の下にあるAdvanced(アドバンス)を選択すると図112.のアドバンス設定画面が表示されます。



CH	Preset	Cruise	Track
1	Setting	Setting	Setting
2	Setting	Setting	Setting
3	Setting	Setting	Setting
4	Setting	Setting	Setting

図 112. PTZ 設定画面(アドバンス設定)

ここではPTZのプリセット、クルーズ、トラックをチャンネル毎に設定します。

Preset(プリセット)欄のSetting(設定)をクリックすると図113.のプリセット設定画面が表示されます。

Enable(有効)に✓マークを入れると、そのプリセット番号が有効になります。Name(名前)の欄では、各プリセット番号に固有の名称を設定することができます。

Preset(プリセット)欄のSetting(設定)をクリックすると図114.のプリセット位置設定画面が表示されます。

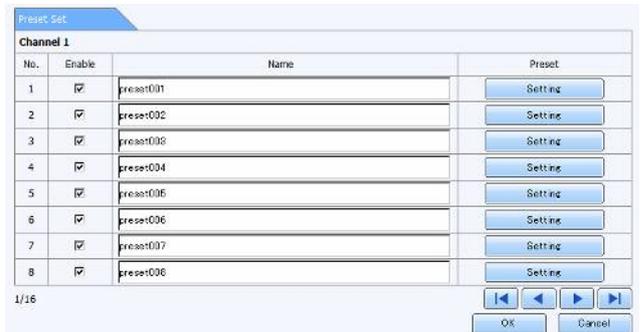


図 113. プリセット設定画面

Channel(チャンネル)欄のプルダウンメニューの中から設定するチャンネルを選択してください。

Preset(プリセット)欄のプルダウンメニューの中から設定するプリセット番号を選択してください。

左に表示された映像を見ながら、各操作釦でプリセット位置を設定してください。操作方法はP41の⑩PTZ制御を参照ください。

プリセット位置を設定したら  釦をクリックしてください。設定内容が保存されます。

Preset(プリセット)欄のプルダウンメニューの中から別の

プリセット番号を、またはChannel(チャンネル)欄のプルダウンメニューの中から別のチャンネルを選択することにより、プリセット位置の設定作業を続けて行うことができます。

すべてのチャンネル、すべてのプリセット番号のプリセット位置設定が終了し、設定内容を保存したら  釦をクリックしてください。図113.のプリセット設定画面に戻ります。

プリセットのリストが複数ページになる場合は   釦でページを移動することができます。

プリセットの設定が終了したら  釦をクリックしてください。図113.のプリセット設定画面が消え、図112.のアドバンス設定画面に戻ります。



図 114. プリセット位置設定画面

図112.のアドバンス設定画面でCruise(クルーズ)欄のSetting(設定)をクリックすると図115.のクルーズ設定画面が表示されます。

初めてクルーズを設定する場合は、左側の追加  釦

をクリックし、少なくとも1つのクルーズを左の枠に表示させてください。選択されたクルーズの名前は上部の欄で変更することができます。

クルーズが選択された状態で、右側の追加  釦をクリックするとNo.(ナンバー)の欄に新たに番号が1つ追加され、Preset(プリセット)、Time[s](時間[秒])、Speed(スピード)の各欄にプルダウンメニューが表示されます。クルーズでPTZが最初にたどるプリセット番号、その位置での停止時間[秒]、その位置への回転スピードをそれぞれのプルダウンメニューの中から選択してください。もう一度右側の追加  釦をクリックするとNo.(ナンバー)の欄に次の番号が表示され、その行にもPreset(プリセット)、Time[s](時間[秒])、Speed(スピード)のプルダウンメニューが表示されます。同様に各項目を設定してください。

削除  釦をクリックすると、選択されたクルーズまたは選択されたプリセット位置が削除されます。

すべて削除  釦をクリックすると設定されたすべてのクルーズまたはすべてのプリセット位置が削除されます。

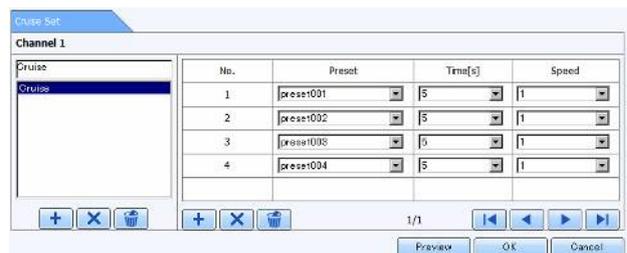


図 115. クルーズ設定画面

(1) Add(ユーザの追加)

図117.のユーザ設定画面でAdd(追加)  鈕をクリックすると図118.のユーザ追加登録画面が表示されます。

①User Name(ユーザ名)

新規に登録するユーザ名を入力してください。

②Password(パスワード)

パスワードを入力してください。

③Confirm Password(パスワードの確認)

確認のため、②で入力したパスワードをもう一度入力してください。

④User Type(ユーザタイプ)

新規に登録するユーザに与える操作権限(ユーザレベル)をプルダウンメニューの中から選択します。

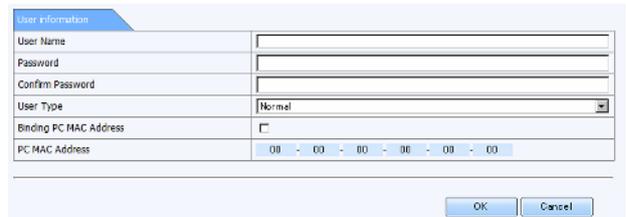
操作権限(ユーザレベル)の詳細はP23 ④User Type(ユーザタイプ)を参照ください。

⑤Binding PC MAC Address(MACアドレスの拘束)

この欄に✓マークを入れると、LANまたはインターネットを介し本機にアクセスできるPCを、PCのMACアドレスにより限定することができます。

⑥PC MAC Address(PC MACアドレス)

前項で✓マークを入れた場合は、追加登録中のユーザが使用するPCのMACアドレスを入力してください。前項で✓マークを入れなかった場合は、この項目を設定する必要はありません。



The image shows a 'User Information' dialog box with the following fields: 'User Name' (text input), 'Password' (text input), 'Confirm Password' (text input), 'User Type' (dropdown menu set to 'Normal'), 'Binding PC MAC Address' (checkbox), and 'PC MAC Address' (text input with a format of 00 - 00 - 00 - 00 - 00 - 00). There are 'OK' and 'Cancel' buttons at the bottom right.

図 118. ユーザ追加登録画面

追加するユーザ情報の入力終了したら  鈕をクリックしてください。設定内容が保存され図117.のユーザ設定画面に戻ります。

(2) Delete(ユーザの削除)

図117.のユーザ設定画面のUser List(ユーザリスト)の中で、削除するユーザを選択し、Delete(削除)  鈕をクリックすると図119.の”Are you sure to delete?”(本当に削除してよろしいですか。)という確認メッセージが表示されます。削除してよければ「OK」鈕を、削除してはいけない場合は「キャンセル」鈕をクリックしてください。

「OK」鈕をクリックすると選択されていたユーザがUser List(ユーザリスト)の中から削除されます。



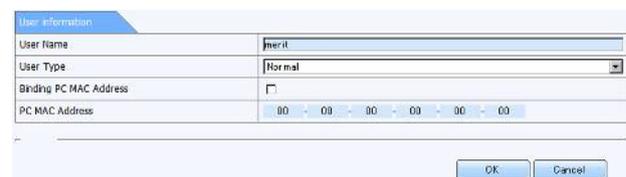
図 119. 削除確認画面

(3) Setup(ユーザの設定変更)

図117.のユーザ設定画面のUser List(ユーザリスト)の中で、設定内容を変更するユーザを選択し、Setup(設定)  鈕をクリックすると図120.のユーザ設定変更画面が表示されます。

この画面で変更できる設定内容はUser Type(ユーザタイプ)、

Binding PC MAC Address(MACアドレスの拘束)、PC MAC Address(PC MACアドレス)です。



The image shows a 'User Information' dialog box with the following fields: 'User Name' (text input with 'jmerit'), 'User Type' (dropdown menu set to 'Normal'), 'Binding PC MAC Address' (checkbox), and 'PC MAC Address' (text input with a format of 00 - 00 - 00 - 00 - 00 - 00). There are 'OK' and 'Cancel' buttons at the bottom right.

図 120. ユーザ設定変更画面

設定内容の変更が終了したら  鈕をクリックしてください。設定内容が保存され図117.のユーザ設定画面に戻ります。

(4) Change Password(パスワードの設定変更)

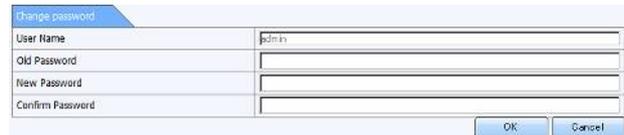
現在ログインしているユーザのパスワードのみ、変更することができます。

Change Password(パスワードの変更) 鈕をクリックすると図121.のパスワード変更画面が表示され、

User Name(ユーザ名)の欄には現在ログインしているユーザ名が薄く表示されています。

Old Password(古いパスワード)欄に、今まで使用していたパスワードを入力してください。次にNew Password(新しいパスワード)の欄に、新しく設定するパスワードを入力し、Confirm Password(パスワードの確認)の欄にもう一度新しいパスワードを入力してください。

入力が終了したら 鈕をクリックしてください。新しいパスワードが保存され図117.のユーザ設定画面に戻ります。



The image shows a 'Change password' dialog box with the following fields: User Name (containing 'admin'), Old Password, New Password, and Confirm Password. There are 'OK' and 'Cancel' buttons at the bottom right.

図 121. パスワード変更画面

8-6. ツール

画面上部のTOOLS(ツール)タブをクリックしてください。図122.のディスク管理画面が表示されます。

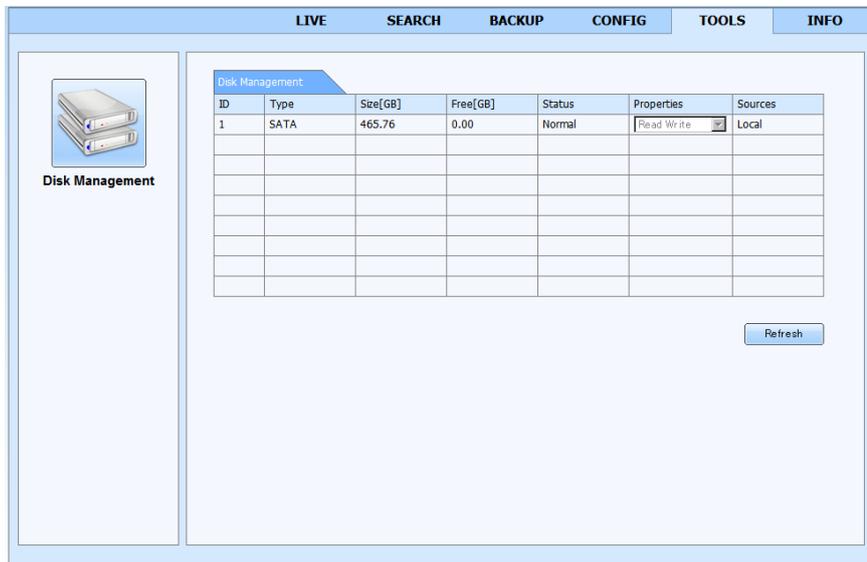


図 122. ディスク管理画面

この画面には内部にインストールされているハードディスクと前面パネルのUSBスロットに接続されたUSBデバイスの種類、全容量、空き容量などが表示されます。

Refresh(リフレッシュ)鈕をクリックすると、クリックした時点で接続されているデバイスの情報が表示されます。

8-7. 情報

8-7-1. システム情報

画面上部のINFO(情報)タブをクリックしてください。図123.の情報画面の内のシステム情報画面が表示されます。



図 123. システム情報画面

この画面では、Device Name(機器の名称)、Device ID(機器のID)、Hardware Version(ハードウェアバージョン)、MCU Version(MCUバージョン)、Kernel Version(Kernelバージョン)、Firmware Version(ファームウェアバージョン)、Launch Date(使用開始日)が表示されます。それぞれの項目の詳細は P34 7-1-1.システム情報 を参照ください。

8-7-2. イベント情報

画面左側の  (イベント)を選択すると、図124.のイベント情報検索画面が表示されます。

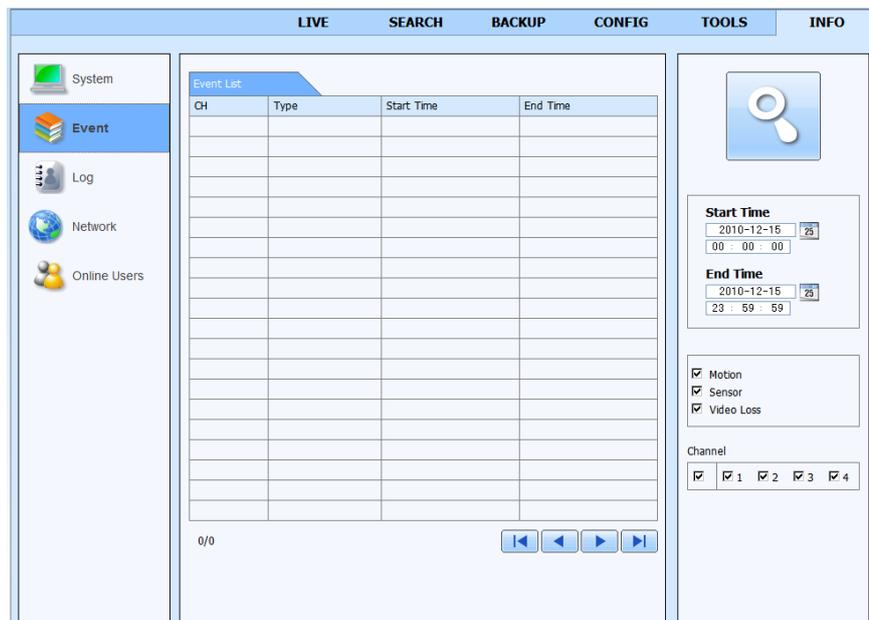


図 124. イベント情報検索画面

検索範囲の最初の日付時刻をStart Time(開始時刻)の欄に、また最後の日付時刻をEnd Time(終了時刻)の欄に設定し、 鈕をクリックしてください。指定した日付時刻範囲に発生したイベントのリストが、画面の中央に表示されます。

🔍 釦をクリックする前にMotion(モーション)、Sensor(センサー)、Video Loss(ビデオロス)あるいはChannel(チャンネル)につけられた✓マークを外すことにより検索するイベントの種類、チャンネルを絞り込むことができます。

8-7-3. ログ情報

画面左側の  (ログ) を選択すると、図125.のログ情報検索画面が表示されます。

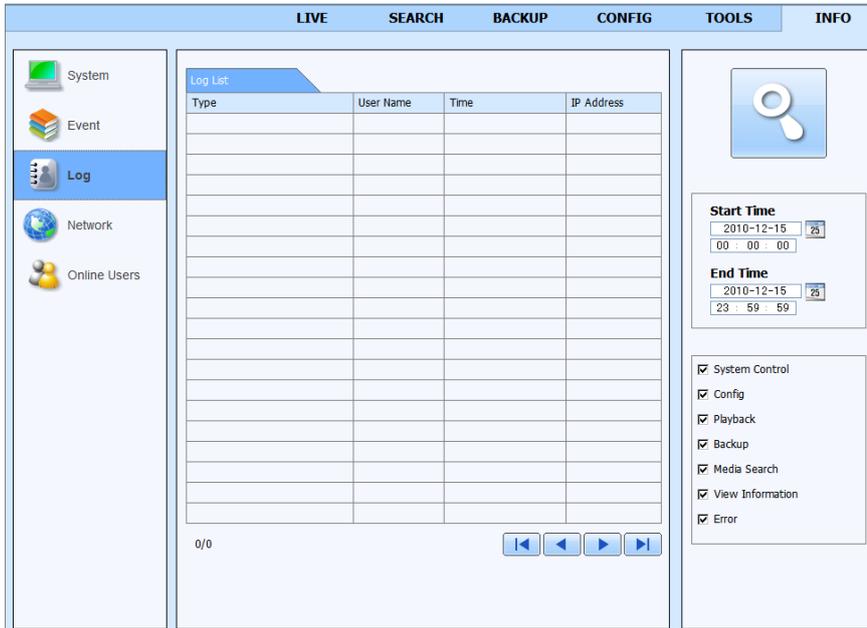


図 125. ログ情報検索画面

検索範囲の最初の日付時刻をStart Time(開始時刻)の欄に、また最後の日付時刻をEnd Time(終了時刻)の欄に設定し、🔍 釦をクリックしてください。指定した日付時刻範囲に発生したログのリストが、画面の中央に表示されます。🔍 釦をクリックする前に各ログ名の前につけられた✓マークを外すことにより検索するログの種類を絞り込むことができます。

8-7-4. ネットワーク情報

画面左側の  (ネットワーク) を選択すると、図126.のネットワーク情報画面が表示されます。



図 126. ネットワーク情報画面

各項目の詳細はP21 5-6.ネットワーク設定 を参照ください。

9. 録画時間

画質	CIF (360 x 240) 録画フレームレート(コマ/秒) 500GB							
	120	80	60	40	20	12	8	4
Highest	7.8 日	11.7 日	15.6 日	23.4 日	46.8 日	78.0 日	117.0 日	234.0 日
Higher	12.6 日	18.9 日	25.2 日	37.8 日	75.6 日	126.0 日	189.0 日	378.0 日
Medium	15.6 日	23.4 日	31.2 日	46.8 日	93.6 日	156.0 日	234.0 日	468.0 日
Low	21.0 日	31.5 日	42.0 日	63.0 日	126.0 日	210.0 日	315.0 日	630.0 日
Lower	31.2 日	46.8 日	62.4 日	93.6 日	187.2 日	312.0 日	468.0 日	936.0 日
Lowest	64.8 日	97.2 日	129.6 日	194.4 日	388.8 日	648.0 日	972.0 日	1,944 日

画質	Full D1 (720 x 480) 録画フレームレート(コマ/秒) 500GB							
	30	28	24	20	16	12	8	4
Highest	8.4 日	9.0 日	10.5 日	12.6 日	15.7 日	21.0 日	31.5 日	63.0 日
Higher	13.2 日	14.1 日	16.5 日	19.8 日	24.7 日	33.0 日	49.5 日	99.0 日
Medium	16.8 日	18.0 日	21.0 日	25.2 日	31.4 日	42.0 日	63.0 日	126.0 日
Low	22.8 日	24.4 日	28.5 日	34.2 日	42.7 日	57.0 日	85.5 日	171.0 日
Lower	33.6 日	36.0 日	42.0 日	50.4 日	62.8 日	84.0 日	126.0 日	252.0 日
Lowest	68.4 日	73.2 日	85.5 日	102.6 日	128.2 日	171.0 日	256.5 日	513.0 日

1. 上記は参考値です。実際の録画時間は撮影条件により変わります。
2. カメラ 4 台合計の最大録画フレームレートは CIF 時 120 コマ/秒、Full D1 時 30 コマ/秒です。
3. 上記のフレームレートはすべてのカメラの合計録画フレームレートです。

10. 仕様

型名	HS-DH4095
録画	内部 HDD x 1
記録メディア	SATA HDD x 1
録画モード	外部アラーム/動き検知/スケジュール/手動
録画スピード	30 Full D1/秒、120 CIF/秒
録画解像度	720 x 480 (Full D1) / 360 x 240 (CIF)
スケジュール	7日、24時間表示
録画フレームレート	チャンネル毎に設定可能
バックアップ	USB 2.0メモリ / ネットワークによる遠隔バックアップ / DVD-RW (USB 外部接続)
再生検索	日付時間検索 / イベント検索
再生スピード	順方向 : 1/4x、1/2x、1x、2x、4x、8x、16x / 逆方向 : 8X、16X、32X
圧縮方式	H.264
映像入力	BNC x 4 (1Vp-p、75Ω)
カメラ名称	英数半角 最大 32 文字
ライブ映像	120 FPS
映像出力	BNC x 1 (1Vp-p、75Ω)
VGA出力	1280 x 1024 (SXGA)、1024 x 768 (XGA)、800 x 600 (SVGA)
モニタ画面表示	フル画面、4分割
マスキング	カメラ毎に3箇所
アラーム入力	4ch (NO/NC 選択可能)
アラーム出力	NO/NC
動き検知機能	感知枠 : カメラ毎に 22 x 15 ユニット、感度 : 8段階
イベント	外部アラーム / 動き検知
アラーム録画	プレアラーム / ポストアラーム
ID設定	0 ~ 65535 まで設定可能
マウス	USB
音声	入力 : RCA x 4 / 出力 : RCA x 1
ネットワーク	インターネットブラウザアクセス / 複数アクセス可能
ネットワークプロトコル	TCP/IP、DHCP、DDNS、PPPoE
ウェブ設定	全機能、遠隔アップデート可能、
ユーザ認証	3レベル: 管理者、オペレーター、ゲスト
使用温度	+5°C ~ +40°C
使用湿度	90%以下
電源	DC12V
消費電力	60W
外形寸法	255(W) x 46(H) x 200(D) mm (突起物を除く・ゴム足含む)
質量	1.2 kg (HDD 除く)
付属品	USB マウス x 1



有限会社 メリット

本 社 〒215-0018 神奈川県川崎市麻生区王禅寺東5-6-17

電話&ファックス : 044-986-9088

埼玉営業所 〒351-0115 埼玉県和光市新倉1-28-12

電話 : 090-6527-6624

URL : <http://www.meritcctv.com>

E-mail : info@meritcctv.com

2012.4.1